

第4次館山市総合計画「前期基本計画」政策評価シート 総括

資料2-3

事業No.	計画事業名	担当課 (R3回答課)	【参考】前期基本計画の事業費 決算(見込み)額(千円)						H28~R2の事業実施状況	事業の効果及び課題(総括)	達成度	方向性	統合先の 計画事業	計画書 ページ No.
			H28	H29	H30	R1	R2	計						
			1	妊娠・出産に関する正しい知識の普及・啓発	健康課	142	146	250						
2	三世同居・近居の推進	企画課	0	0	0	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 三世同居・近居の推進に繋がる支援制度等、他自治体の取組事例の収集や研究に努めた。 研究段階であり、事業の実施には至らなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 多世代同居・近居は賛否ある施策であり、多世代交流により多様な価値観を学べる一方、感情的な摩擦も起こり得る。 家族構成・持ち家の有無・経済事情等により、三世同居・近居をしたくてもできない場合も多い。 	4 目標をかなり下回る	8 他事業に統合	(No.19) 「日本版CCRC」の導入に向けた検討	54
3	母子保健事業	健康課	33,438	32,103	28,824	26,429	28,451	149,245	<ul style="list-style-type: none"> 妊婦及び乳幼児のいる家庭の不安軽減や虐待防止の観点から、妊婦・乳幼児の各種健診や地区担当保健師による個別支援を行った。 また、食育の授業を行い生活習慣病の予防や、思春期ふれあい体験を通して、乳幼児を慈しみ、育む心を養う教育に努めた。 令和2年10月、子育て世代包括支援センター「たてっ子」を立ち上げ、妊産婦に妊娠・子育てに関する情報提供をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 地区担当保健師が妊婦訪問から継続した支援を実施することで、妊婦と乳幼児のいる家庭の健康の確保及び増進に繋がっている。 乳幼児健診未受診者は電話や訪問での状況確認を通じて全数把握し、支援に繋げている。 	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		54
4	子育て支援事業	こども課	10,987	11,131	10,728	10,761	13,186	56,793	<ul style="list-style-type: none"> 窓口等に利用者支援員を配置し、教育・保育施設や地域の子育て支援事業等の利用に関し、保護者へ寄り添い型の支援を実施した。 病児・病後児保育事業を委託により、継続し実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者支援員の配置により、各種子育て支援事業等の円滑な利用に繋がることができ、ワンストップ窓口機能が強化された。 子どもが病気等で自宅での保育ができない場合に、一時的に保育を行う病児・病後児事業を利用することで、保護者の仕事と子育ての両立に繋がっている。 	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		55
5	保育園・こども園における保育サービスの充実	こども課	516,963	543,974	505,695	499,764	526,524	2,592,920	<ul style="list-style-type: none"> 市内民間保育園4園に対し、運営費等の支援を行った。 令和元年10月から幼児教育・保育の無償化事業を円滑にスタートさせ、公立・私立保育園の保育料を無償化し、加えて認可外保育施設の利用者に対しても施設利用費の支給を開始した。 令和元年度、館山市の子ども一人ひとりが健やかに成長できる社会を目指すため、「第2期子ども・子育て支援事業計画」を策定した。 	<ul style="list-style-type: none"> 市内民間保育園の、運営費等に対し支援を行った結果、保育サービスの維持が図られた。 幼児教育・保育の無償化事業のスタートにより、保育・教育の機会の公平化、保護者負担の軽減、就労機会の確保につながった。 	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		55
6	幼児教育の充実	こども課	29,138	46,098	38,497	39,888	61,119	214,740	<ul style="list-style-type: none"> 中央保育園と北条幼稚園の「こども園化」に向けた、段階的な取組として、北条幼稚園において「有料の預かり保育」を実施している。 白百合幼稚園の園児に対し、私立幼稚園就園奨励費補助金を交付(R1で終了)。 令和元年10月からの幼児教育の無償化により、白百合幼稚園の保育料等の支給を開始した。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年4月より北条幼稚園において有料の預かり保育(R1.10~無償化)を開始した結果、保育が必要な子どもの受け皿が増え、保護者の就労機会の拡大につながった。 教材等の計画的な購入や遊具の更新を行ったため、各園において幼児教育の充実が図られた。 新制度に移行しない私立幼稚園に通う園児に対し、私立幼稚園就園奨励費補助金を交付し、経済的支援を図ることができた(R1で終了)。 令和元年10月から、白百合幼稚園の園児の保育料、副食費等を負担することで、保護者の経済的負担の軽減及び、教育環境の提供につながった。 	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		55

第4次館山市総合計画「前期基本計画」政策評価シート 総括

資料2-3

事業No.	計画事業名	担当課 (R3回答課)	【参考】前期基本計画の事業費 決算(見込み)額(千円)						H28～R2の事業実施状況	事業の効果及び課題(総括)	達成度	方向性	統合先の 計画事業	計画書 ページ No.
			H28	H29	H30	R1	R2	計						
			7	「元気な広場」 運営事業	こども課	17,013	17,013	17,013						
8	学童クラブ運営事業	こども課 建築施設課	102,736	80,450	84,077	89,485	89,846	446,594	・公設学童クラブを運営委託により実施するとともに、保護者会が運営する学童クラブへ運営費の補助を行った。 ・開所時間延長の要望に対し、平成30年度より実施した。 ・利用者ニーズの増大に対し、定員拡大となる調整を行った。 ・夏休み利用のニーズの増大に対し、定員の拡大を図った。 ・新型コロナウイルス感染症予防対策のための環境整備を図った。 [H28年度] ・那古学童クラブ外構工事 ・那古学童クラブ新築工事 ・房南学童クラブ新設 [R2年度] ・空気清浄機及び加湿器購入 ・学童クラブ畳撤去及び床修理工事	・平成30年度より、夕方18時30分までの延長を開始と、北条学童クラブで10人、館野学童クラブで5人の定員を拡大し、放課後に児童が安心して生活できる居場所の確保と、次代を担う児童の健全な育成の支援に繋がった。 ・夏休み利用のニーズの増大に対し、令和元年度より夏休み利用の定員を北条学童クラブで35人程度拡大した。その結果、入所保留児童数の削減に繋がった。 ・令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策として、空気清浄機及び加湿器を全学童クラブへ設置等行い、衛生環境の整備を図った。	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		55
9	子ども医療費給付事業	社会福祉課	109,632	122,273	118,950	113,715	89,993	554,563	・平成28年8月より通院医療費の助成対象を中学3年生まで拡大した。	・子どもの保健向上と保護者の経済的負担の軽減が図れた。	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		55
10	ひとり親家庭支援事業	社会福祉課	204,034	196,286	189,222	224,912	171,052	985,506	ひとり親家庭等の父母等の福祉の増進を図った。 ・ひとり親家庭等に医療費の一部を助成 ・母子家庭や父子家庭への児童扶養手当の支給 ・母子家庭や父子家庭への自立支援給付金等の支給 ・母子家庭や父子家庭への入学準備金及び就職準備金の貸付	・ひとり親家庭等の父母等の福祉の向上が図れた。	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		55
11	児童虐待防止ネットワーク事業	こども課	2,347	2,402	4,219	4,285	4,937	18,190	・要保護児童対策地域協議会を中心に、関係機関との連携や情報の共有化に努め、児童虐待への対応や、虐待を未然に防止するためのネットワーク体制の強化を図った。	・関係機関と密接な連携を図ることにより、虐待が疑われる事案等に対して、早急な対応が図れるようになった。	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		55
12	保育園・幼稚園・こども園の整備充実	こども課 建築施設課	7,032	6,245	5,158	25,804	26,796	71,035	【主なもの】※備品購入・委託料・工事請負費のうち保育環境向上にかかるもの ・各幼稚園の遊具設置・更新、空調機設置・更新、トイレ改修等 ・各保育園の空調機交換・増設、遊具設置・更新、トイレ洋式化等 ・各こども園の遊具更新、トイレ洋式化等	・改修工事や遊具の更新工事により、適切な施設運営が図られた。 ・幼稚園保育室へ空調機を設置することで熱中症対策等につながり保育環境の改善が図られた。 ・令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策として、トイレ洋式化や空調機増設等の衛生環境の整備等を行った。	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		56

第4次館山市総合計画「前期基本計画」政策評価シート 総括

資料2-3

事業No.	計画事業名	担当課 (R3回答課)	【参考】前期基本計画の事業費 決算(見込み)額(千円)						H28~R2の事業実施状況	事業の効果及び課題(総括)	達成度	方向性	統合先の 計画事業	計画書 ページ No.
			H28	H29	H30	R1	R2	計						
			13	保育園・幼稚園・こども園における安全対策の充実	こども課 建築施設課	0	0	1,939						
14	「地域包括ケアシステム」の構築	高齢者福祉課 (健康福祉部)	3,420	4,045	1,403	494	4,819	14,181	<ul style="list-style-type: none"> ・「第1層協議体(いきいき支え愛ネットワーク)」にて、各地区で開催しているワークショップの状況を報告し、第1層協議体のあり方を協議。更に地域ごとに協議体の重要性と設置に向けた機運の醸成を図った。 ・館山市在宅医療・介護連携会議を実施し、退院時のマニュアル作成の検討を始めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第1層支え合い会議(協議体)及び第1層支え合い相談員(生活支援コーディネーター)を設置 ・一部地域で第2層支え合い会議(協議体)及び第2層支え合い相談員(生活支援コーディネーター)を設置 ・被災者支援連絡会を発足 ・介護予防に効果のある「通いの場」の設置を進めた。 	2 おおむね目標どおり	1 継続(拡充)		58
15	地域で高齢者を支える体制づくり事業	高齢者福祉課	19,852	22,606	23,262	23,561	23,899	113,180	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポーター養成講座を94回開催、サポーター人数5,508人 ・認知症初期集中支援チームを設置 ・配食サービス事業の実施 ・家族介護用品支給 	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポーター養成講座を94回開催、サポーター人数5,508人を支援。 ・配食サービスの実施により、安否確認及び栄養状態の向上につながった。 ・家族介護用品の支給により、在宅で介護する家族の負担が軽減した。 	2 おおむね目標どおり	1 継続(拡充)		58
16	地域で高齢者を支える体制づくり事業 (地域包括支援センター事業)	高齢者福祉課	77,406	60,245	78,416	78,355	78,396	372,818	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センターを3カ所に委託、高齢者の安定した生活を支援する総合機関として運営。「介護予防ケアマネジメント事業」「総合相談事業」「権利擁護事業」「包括的・継続的ケアマネジメント事業」の4つを行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談件数も年々増加し、地域包括支援センターの知名度も上がってきている。 ・また、地域ケア会議や介護予防のサロン、体操教室のグループも増えてきている。 	2 おおむね目標どおり	1 継続(拡充)		58
17	社会参画・生きがい活動の促進事業	高齢者福祉課	13,277	13,022	13,237	12,693	12,403	64,632	<ul style="list-style-type: none"> ・敬老祝金を支給 ・シルバー人材センターに補助金を交付 ・社会福祉協議会に地域福祉事業活動費補助金を交付 ・老人クラブ補助金を交付 	<ul style="list-style-type: none"> ・敬老祝金を483名に支給した。 ・シルバー人材センターの受注件数は年々増えていたが、R1~R2年度は台風や新型コロナウイルスの影響により減少した。 ・社会福祉協議会のサロンについては、新型コロナウイルスの影響により活発な活動ができなかった。 	3 目標をやや下回る	1 継続(拡充)		58
18	高齢者見守り事業	高齢者福祉課	10	10	10	10	10	50	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者見守り協定の締結を行った。 ・高齢者見守りネット報告会を開催した。 ・高齢者見守りネット協力団体による捜索を行うようにした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・金融機関、郵便局をはじめ協力団体が、さり気ない見守りを行なっていただいている。通報により保護、入院、家への帰宅、サービスの利用に繋げることができた。 	3 目標をやや下回る	2 継続(現状維持)		58
19	「日本版CCRC」の導入に向けた検討	企画課	0	0	0	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・(株)千葉銀行の主催による「CCRCセミナー」への参加のほか、他市町村の取組事例に関する情報収集に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯活躍のまち(日本版CCRC)構想の実現は、人口減少対策、高齢者を含めた多世代の参加・交流によるまちづくり、雇用創出、健康増進等、幅広い分野での効果が期待される。 ・推進にあたり、財政支援、人材の確保、地元住民等との合意形成等、受入環境の整備が主な課題として考えられる。 	3 目標をやや下回る	2 継続(現状維持)		58

第4次館山市総合計画「前期基本計画」政策評価シート 総括

資料2-3

事業No.	計画事業名	担当課 (R3回答課)	【参考】前期基本計画の事業費 決算(見込み)額(千円)						H28～R2の事業実施状況	事業の効果及び課題(総括)	達成度	方向性	統合先の 計画事業	計画書 ページ No.
			H28	H29	H30	R1	R2	計						
			20	館山市高齢者保健福祉計画の推進	高齢者福祉課	2,630	3,724	0						
21	高齢者の権利擁護事業	高齢者福祉課	512	526	705	4,760	5,318	11,821	・高齢者虐待ネットワーク会議を開催した。 ・また、職員が高齢者虐待防止対策研修等に参加し、高齢者虐待に関する対応力の強化を図った。 ・市長申立による成年後見申請をして、高齢者の権利擁護を図った。 ・安房.3市1町で「安房地域権利擁護推進センター」を立ち上げ、権利擁護の充実を図った。	・高齢者虐待について、虐待を受けている高齢者及び擁護者の支援をすることができた。 ・市長申立により、高齢者に後見人を立てることができた。 ・安房3市1町で市民後見養成講座を開催し、市民後見人を養成した。 ・成年後見の報酬助成を行った。これにより成年後見制度の利用促進に繋がった。	2 おおむね目標どおり	1 継続(拡充)		59
22	安定した介護保険制度の運営	高齢者福祉課	5,369,277	5,568,288	5,690,869	5,715,309	6,067,717	28,411,460	・介護(予防)給付 ・介護予防事業、包括的支援事業等の実施 ・一般会計からの繰入れ	・介護保険制度の安定的な運営に努めた。 ・年2回、過去6か月分の介護保険利用者に給付費の通知を行い、自分の利用した介護給付費の確認を促した。	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		59
23	介護保険特別会計への繰出事務	高齢者福祉課	887,264	919,083	888,760	946,244	988,271	4,629,622	・一般会計から介護保険法で定める費用を介護保険特別会計に繰出した。	・介護保険制度の安定的な運営を図ることができた。	2 おおむね目標どおり	8 他事業に統合	(No.22)安定した介護保険制度の運営	59
24	介護相談員派遣等事業	高齢者福祉課	477	391	376	637	181	2,062	・介護相談員6名を介護施設に派遣し、利用者の身近な相談を受けた。 ・相談員の質の向上のため研修を行った。	・施設サービスの質の向上や利用者及びその家族の権利擁護などを進めることができた。 ・R1～R2は、台風やコロナで活動が停止状態となってしまった。今後の活動方針を再検討する必要がある。	3 目標をやや下回る	1 継続(拡充)		59
25	老人ホーム入所措置事業	高齢者福祉課	67,476	72,222	85,832	88,171	98,014	411,715	・家庭の諸事情及び経済的な事情により、在宅で介護を受けることが困難な高齢者の介護老人ホームへの措置入所を行った。	・介護老人ホームへの入所により、安心して生活することができている。	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		59
26	在宅福祉サービス事業	高齢者福祉課	1,528	1,247	1,440	1,244	1,269	6,728	・日常生活に支障のある高齢者等を対象として、緊急通報装置をはじめとする日常生活用具の給付・貸与を行った。 ・草刈り、剪定など軽度生活援助を実施した。 ・高齢者や障害者の家族に対し、車椅子に座ったまま車に乗れる軽自動車(福祉カー)の貸し出しを行った。	・緊急通報装置:14件(新規件数) ・軽度生活援助:58件(年間件数) ・福祉カーの貸し出し:85件(年間件数)	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		59
27	館山市障害者計画の推進	社会福祉課	0	2,857	0	0	2,398	5,255	・「第4次館山市障害者計画」に則った事業の実施、点検、評価を行った。 ・「第5次館山市障害者計画」の策定を行った。	・各種事業の推進が図られた。	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		61
28	障害者支援に関する事業	社会福祉課	992,857	1,063,104	1,116,113	1,164,799	1,272,819	5,609,692	・障害者総合支援法に基づく障害福祉サービスの適正・安定的な運用を図るとともに、地域生活支援事業を実施した。 ・また、障害者への保険診療に係る費用を助成した。	・障害者の自立・社会参加の促進や、医療費負担の軽減が図られた。	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		61

第4次館山市総合計画「前期基本計画」政策評価シート 総括

資料2-3

事業No.	計画事業名	担当課 (R3回答課)	【参考】前期基本計画の事業費 決算(見込み)額(千円)						H28～R2の事業実施状況	事業の効果及び課題(総括)	達成度	方向性	統合先の 計画事業	計画書 ページ No.
			H28	H29	H30	R1	R2	計						
			29	障害児支援に関する事業	社会福祉課	39,457	71,293	109,693						
30	地域生活のための支援事業	社会福祉課	46,634	40,941	42,816	46,704	51,455	228,550	・障害者の社会参加や地域生活移行を促進するための事業を実施した。	・障害者の社会参加や福祉の増進が図られた。	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		61
31	生活困窮者自立支援事業	社会福祉課	12,479	14,222	15,415	15,446	15,928	73,490	・生活困窮者自立支援法に基づき、生活困窮者が抱える多様で複合的な問題について必要な情報提供及び助言を行うとともに、支援を行う事業を社会福祉協議会へ委託して実施した。 ・平成29年度から任意事業である就労準備支援事業と家計相談事業を新たに開始した。	・生活保護まで至らないが生活困窮にある者の相談・支援窓口となっている。 ・また、真に生活保護が必要な者への助言(つなぎ)の場となっている。	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		62
32	生活保護事業	社会福祉課	1,273,644	1,113,773	1,029,938	1,068,066	1,006,998	5,492,419	・生活困窮者に対し、状況に応じた扶助を行い、最低限度の生活を保障するとともに、ケースワーカーによる自立に向けた支援を行った。	・最低限度の生活の保障及び自立の促進が図られた。	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		62
33	地域福祉に関する事業	社会福祉課	20,417	22,635	22,155	28,046	27,062	120,315	・館山市社会福祉協議会補助金として、社会福祉協議会人件費を支出した。また、館山市社会福祉協議会事業である地域ぐるみ福祉ネットワーク事業補助金を支出した。	・館山市社会福祉協議会は、地域の福祉課題を把握し、その推進を担う組織として社会福祉法に位置づけられた社会福祉法人であるが、公共的団体の側面を併せ持ち、自主財源確保が厳しいことから、人件費・事業費を補助することで地域福祉の推進に資することが図られた。	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		63
34	館山市地域福祉計画の策定	社会福祉課	0	0	0	0	0	0	・館山市地域福祉計画の策定に向け、他市の情報収集に努めた。	・他市の地域福祉計画の策定状況や手法を参考とし、館山市地域福祉計画策定に向けた検討を開始した。	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		63
35	救急医療体制確保事業	健康課	142,345	143,285	144,158	138,254	112,041	680,083	・安房郡市広域市町村圏事務組合が実施する休日及び夜間における救急急病の診療事業に係る経費を負担した。 ・太陽会及び木下会が実施する救急医療事業の運営に要する経費の一部を補助した。 ・市民ニーズの高い小児救急医療について、会議の場で市内の医療機関に対して働きかけを行った。 ・看護師等の医療資源の安定的な確保を図るため、養成機関や看護師等を志望する市民に適切な支援を行った。	・館山市における休日や夜間を含む救急医療体制の維持・確保が図られた。 ・看護師等の養成機関や看護師等を志望する市民に支援を行い、看護師等の確保が図られた。	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		65
36	看護師等修学資金貸付制度	健康課	17,662	13,768	9,763	9,450	8,610	59,253	・入学時期に合わせて市広報に制度の概要を掲載。 ・法人(グループ)内での人事異動等を想定し、医療機関以外の施設への異動も返還免除対象の就業先とみなせるよう施行規則を改正。その他、申請時に特定修学資金利用の有無を把握できるよう様式を一部変更した(令和2年4月1日施行)。	・令和2年度新規利用者：6名。 ・令和2年度中に返還免除となった者：11名(全額免除)、2名(半額免除)	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		65
37	かかりつけ医の普及・定着	健康課	0	0	0	0	0	0	・家庭訪問や健康相談の際に、かかりつけ医を持つことの重要性を説明し、適正な医療へ繋ぐ支援を行った。	・かかりつけ医を持つことで、疾病の早期発見、早期治療、重症化予防に結びつく。	3 目標をやや下回る	2 継続(現状維持)		65

第4次館山市総合計画「前期基本計画」政策評価シート 総括

資料2-3

事業No.	計画事業名	担当課 (R3回答課)	【参考】前期基本計画の事業費 決算(見込み)額(千円)						H28~R2の事業実施状況	事業の効果及び課題(総括)	達成度	方向性	統合先の 計画事業	計画書 ページ No.
			H28	H29	H30	R1	R2	計						
			38	国民健康保険運営事業	市民課	7,409,286	7,058,309	6,213,273						
39	国民健康保険特別会計への繰出事務	市民課	480,813	398,624	434,062	427,038	445,571	2,186,108	・一般会計から国民健康保険特別会計へ必要な繰出しを行った。	・一般会計からの繰出しを行ったことにより、被保険者の負担増が回避できた。	2 おおむね目標どおり	8 他事業に統合	(No.38) 国民健康保険運営事業	65
40	後期高齢者医療運営事業	市民課	1,282,735	1,326,467	1,358,182	1,395,964	1,432,554	6,795,902	・保険者である後期高齢者医療広域連合を通じて、後期高齢者医療制度加入者の疾病・負傷・死亡に対する必要な給付を行った。	・保険者である後期高齢者医療広域連合を通じて必要な給付を行うことができた。	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		65
41	後期高齢者医療特別会計への繰出事務	市民課	170,060	174,843	179,780	178,971	198,362	902,016	・一般会計から後期高齢者医療特別会計へ必要な繰出しを行った。	・一般会計から繰出すことにより、安定的な後期高齢者医療特別会計の運営が図られている。	2 おおむね目標どおり	8 他事業に統合	(No.40) 後期高齢者医療運営事業	65
42	短期人間ドック助成事業	市民課	6,511	6,790	6,929	6,444	4,824	31,498	・疾病の予防や早期発見、早期治療のための健康意識の向上が図られてきている。 【国保】 ・国民健康保険、後期高齢者医療それぞれにおける本事業の対象者のうち、申請者に対し、受診費用の7割(上限額2万円)を助成した。 【後期】	H28: 272件 5,436,064円 H29: 285件 5,690,240円 H30: 291件 5,809,188円 R1: 264件 5,273,214円 R2: 185件 3,684,293円 H28: 54件 1,075,498円 H29: 55件 1,100,000円 H30: 56件 1,120,000円 R1: 59件 1,171,185円 R2: 57件 1,140,000円	3 目標をやや下回る	2 継続(現状維持)		65
43	コミュニティ医療推進事業	健康課	13,641	12,858	12,288	12,086	7,474	58,347	・「コミュニティ医療」の理念である『“健康寿命の延伸”のために連携すること』を実現するため、健康づくりに対する市民の意識変革と行動変容を働きかけ、まちぐるみで健康づくりに取り組むことで、多様な関係者と地域や職域を超えた連携により、各種事業を進めた。 ・市内小中学校での小児生活習慣病予防授業やPTA家庭教育学級での減塩メニューの伝達講習を通じて自らの健康意識の向上を図った。 ・チラシやホームページなど各種媒体を活用し、健康の維持増進や疾病予防のための正しい情報の周知・啓発など、健康プロモーションを行った。 ・安房薬剤師会薬業会とのワークショップを踏まえ、正しい情報発信の「場」として薬剤師による相談会を実施した。また、かかりつけ医や専門医との連携により、糖尿病性腎症を含む慢性腎不全の重症化予防に取り組んだ。 ・市民が自ら行う健康の維持増進に資する取組を支援するとともに、身体活動の定着化を図るため、「夏期巡回ラジオ体操」をスポーツ課と共に開催した。 ・減塩チラシを作成し、まると健幸パートナー事業の協力事業所を通じて広く配布した。	・たてやま健幸ポイント事業や健幸サロンを含む各種事業及び、健康の維持増進や疾病の予防のための健康プロモーションを通じて、事業参加者の健康意識の向上が図られた。 ・台風15号及び新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた安房医師会や安房薬剤師会薬業会との連携によるワークショップ、市民を交えた住民協議会、市民の意識を量る市民アンケートなどについては実施することが出来なかった。	3 目標をやや下回る	2 継続(現状維持)		67

第4次館山市総合計画「前期基本計画」政策評価シート 総括

資料2-3

事業No.	計画事業名	担当課 (R3回答課)	【参考】前期基本計画の事業費 決算(見込み)額(千円)						H28～R2の事業実施状況	事業の効果及び課題(総括)	達成度	方向性	統合先の 計画事業	計画書 ページ No.
			H28	H29	H30	R1	R2	計						
			44	健康増進事業	健康課	491	425	443						
45	地域ぐるみ健康づくり支援事業	健康課	2,084	2,458	2,212	2,139	2,192	11,085	<ul style="list-style-type: none"> 行政と地域を結ぶパイプ役である保健推進員による赤ちゃん訪問、中学生に対する生活習慣病予防教育、地域への減塩思想と減塩メニューの普及等、地域と連携して保健事業の推進を図った。 保健推進員自ら、尿中推算塩分を測定するなどして、減塩対策に取り組んでもらった。この減塩対策の自己評価及び他の保健推進員の取組みを研修会を通じて学ぶことにより、経験に基づく地域への減塩普及活動を行った。 保健推進員を対象に実施した研修会では、乳幼児の虐待防止や地域での見守りの基礎を学んだほか、クッキング大使の川上文代先生を講師に迎え、調理実習を行った。 地区の乳児にオムツやミルクを配布し、母親を通じて家庭環境の把握などに努めた。 ※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け中止となる事業もあった 	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病予防授業を通して、中学生との交流が図れ、生徒の記憶に残る授業が実践できている。 減塩メニューの普及では、家庭教育学級で実施したことで、子育て中の保護者へ子どもの頃からの減塩の必要性を伝えられた。家庭の味を見直すきっかけとなった。 オムツやミルクを配布することにより、母親が保健推進員と接する一歩となった。 	2おおむね目標どおり	2継続(現状維持)		67
46	生活習慣病対策	健康課	86,536	90,996	93,979	90,465	53,023	414,999	<ul style="list-style-type: none"> 総合検診等各種検診の周知を、広報紙・ホームページ・総合検診ポスターの掲示・新聞掲載・保健師による地区活動・未受診者への再勧奨通知等で実施。 特定健康診査は、総合検診開始と施設健診終了の直前に、40～60歳代の未受診者への受診勧奨として、ソーシャルマーケティングを活用した勧奨通知を郵送。 総合検診にレディースディを設定、大腸がん検診時に健康相談を実施。 各種がん検診、特定健康診査の精密検査未受診者へ電話、家庭訪問にて受診勧奨。 	<ul style="list-style-type: none"> 総合検診等各種検診は、令和元年の台風災害や新型コロナウイルス感染症の影響により受診者が増えず、受診率は横ばいもしくは微減の状況である。 精密検査対象者が医療機関でフォローされるようになる等生活習慣病の重症化防止に効果があり、今後も引き続き新規受診者獲得のための周知が必要である。 	3目標をやや下回る	2継続(現状維持)		67
47	予防接種事業	健康課	82,399	87,142	86,227	79,948	111,438	447,154	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティビジョンを利用し、市民課窓口でPRを行った。 夏休み前や就学時健診及び小中学校入学説明会を利用し、保護者向けのチラシの配布や、未接種者に接種勧奨を行った。 安房管内市町合同で予防接種スケジュール表を作成し、新生児訪問時、保護者へ配布。スケジュールについての相談を行った。 未接種者への再通知を実施。 新たに定期予防接種が開始される時期、また年度末には委託医療機関へ直接訪問し、予防接種事業の説明を行った。 新型コロナウイルス感染症との同時流行を防止するため、季節性インフルエンザ予防接種の費用の負担軽減を行った。 新型コロナワクチン接種事業開始に向けた体制を整えた。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校等にチラシを配布したことにより、保護者から日本脳炎2期の問合せが増加した。 3歳までの予防接種スケジュールを新生児期に保護者へ説明することで、スケジュールのイメージを持ってもらうことができた。 定期予防接種が複雑化する中、委託医療機関へ出向き、直接説明することで、医療機関との連携が図れるようになった。 季節性インフルエンザ予防接種の接種率が増加傾向にある。 今後も引き続き、新型コロナワクチンが、迅速かつ効率的に接種ができる体制を構築していく。 	2おおむね目標どおり	2継続(現状維持)		67

第4次館山市総合計画「前期基本計画」政策評価シート 総括

資料2-3

事業No.	計画事業名	担当課 (R3回答課)	【参考】前期基本計画の事業費 決算(見込み)額(千円)						H28~R2の事業実施状況	事業の効果及び課題(総括)	達成度	方向性	統合先の 計画事業	計画書 ページ No.
			H28	H29	H30	R1	R2	計						
			48	感染症予防対策	健康課	9,788	9,936	9,413						
49	「生きる力」を育成する教育の推進	教育総務課	744	771	782	745	745	3,787	<ul style="list-style-type: none"> ・一中、二中、三中学区に学力向上推進コーディネーターを派遣した。 ・いじめ防止対策推進条例を念頭においた教育活動を推進するとともに、児童生徒に対し心理テストを実施した。 ・電子黒板の活用について研究・研修を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上推進コーディネーターの活用により、学力面だけでなく、生徒指導面においても小中学校の連携が深まった。 ・若手教員が増える中、コーディネーター派遣を通じて、若手教員の指導方法等についての研修機会となり、指導力向上にも繋がっている。 	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		72
50	福祉・環境・キャリア教育の推進	教育総務課	20	20	17	14	0	71	<ul style="list-style-type: none"> ・全小中学校で児童生徒の職場体験を実施。小学校においては「ゆめ・仕事びったり体験」として各校独自実施。中学校においては「チャレンジ感動in館山」として2年生が実施した。 ・幼児とふれあう機会を設定し、中学生が福祉の心を育てる事業を実施(思春期ふれあい体験授業)。 <p>(注) 令和2年度はコロナ関連により事業中止</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教科以外での様々な体験活動を通じて、児童生徒自身が将来の自分を考えるきっかけづくりができています。 	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		72
51	国際理解教育の推進	教育総務課	8,289	8,398	14,083	15,750	17,298	63,818	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校にALTを配置。指導要領改正により2020年度から小学校において英語が教科化されるため、移行期間である平成30年度から小学校へのALT派遣人数を増員 <p>H28~H29 小学校1名 中学校2名 計3名 H30~R02 小学校3名 中学校2名 計5名 (注) 令和2年度コロナ関連により夏季期間の追加契約あり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ALTを配置することで児童生徒が生きた英語に接することができた。また、授業以外の学習活動においても外国人とコミュニケーションを図る機会が創出され、国際理解教育が推進できた。 	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		72
52	情報(モラル)教育の推進	教育総務課	0	0	0	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校においては総合、中学校においては技術科の授業等において、また、日常的な生徒指導の中で情報モラル教育を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特定の授業だけでなく、日常的な学校生活の中で繰り返し、情報モラル教育を行うことにより、児童生徒の意識向上が図られている。 	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		72
53	学校における食育の推進	教育総務課	0	0	0	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養教諭が各小中学校に出向き、食に関する指導として、食事の重要性や、身体の成長に大きな役割があることを指導した。 ・台風被害による調理停止や新型コロナ禍の影響から学校給食を通じて食育指導機会が十分に確保できない状況だった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナの影響により例年に比較し、実施回数が減少 ・今後は感染状況を踏まえつつ、適切な時期に事業を実施していく 	3 目標をやや下回る	1 継続(拡充)		72
54	小・中学校体育振興の推進	教育総務課	7,480	7,480	7,480	7,480	3,026	32,946	<ul style="list-style-type: none"> ・千葉県中学校総合体育大会、同新人大会等への選手派遣 ・小学校陸上大会、体操教室の開催 <p>(注) 令和2年度 コロナ関連に伴う各大会中止による決算額減</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各種大会への選手派遣、大会の開催等を支援することにより、児童生徒の体育実技のレベルアップと体位体力の向上が図られた。 	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		72
55	生活習慣病予防検診事業	教育総務課	2,133	1,935	1,979	1,979	1,918	9,944	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校5年生及び中学校2年生を対象に検診を実施した。 ・検査項目：脂質・肝機能・貧血・糖代謝 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校5年生の検査結果で所見のあった児童の約半数が中学校2年生の検査で改善が見られた。 	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		72
56	特別支援教育体制の推進	教育総務課	20,222	23,766	23,618	22,863	34,911	125,380	<ul style="list-style-type: none"> ・特別な支援が必要な児童生徒等の学習支援、日常生活上の介助を行うため、特別支援教育学習支援員を小中学校等に配置した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援が必要な児童生徒だけでなく、学校教職員の負担軽減にも寄与している。 ・支援を要する児童生徒は年々増加傾向にあり、それらの対策が必要である 	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		72

第4次館山市総合計画「前期基本計画」政策評価シート 総括

資料2-3

事業No.	計画事業名	担当課 (R3回答課)	【参考】前期基本計画の事業費 決算(見込み)額(千円)						H28～R2の事業実施状況	事業の効果及び課題(総括)	達成度	方向性	統合先の 計画事業	計画書 ページ No.
			H28	H29	H30	R1	R2	計						
			57	教育相談体制の充実	教育総務課	3,655	3,591	6,278						
58	安全対策の充実	教育総務課	0	0	0	0	0	0	・各校において危機管理マニュアルを策定し、災害発生時等の対応について教職員間で共通理解を図った。 ・館山市通学路安全プログラムに基づき、通学路の安全対策を推進した。 ・防災訓練、日頃からの安全教育を通じて、児童生徒の交通安全、防災、防犯に関する意識向上に取り組んだ。	・館山市通学路交通安全プログラムに基づき、県、警察等の関係機関と連携し、通学路の安全対策を行った。	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		72
59	教職員研修の充実	教育総務課	0	0	0	0	0	0	・県教委、市教委主催の各種階層別、分掌別研修が実施された。	・研修への参加を通じて、教職員の資質、力量の向上が図られるとともに、研修の機会を通じて、学校間の情報交換の機会となっている。	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		72
60	特色ある学校づくり	教育総務課	178	368	301	313	55	1,215	・小学校6年生、中学校2年生において、歴史副読本「さとみ物語」を活用した授業を実施した。 ・地域人材を活用し、地域の特色を活かした授業を実施した。 (注)令和2年度 コロナ関連に伴い決算額(減)	・児童生徒の地域の自然、歴史等への理解が深まり、また、地域住民の学校活動への関心が高められる。	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		72
61	芸術・文化による豊かな心の育成	教育総務課	1,692	1,876	1,154	1,692	352	6,766	・音楽鑑賞教室の開催(隔年6月開催) ・館山市文化祭「子ども音楽会」の開催 ・県吹奏楽コンクール参加及び各中学校合唱コンクールの開催支援 (注)令和2年度 コロナ関連に伴い子ども音楽会中止	・音楽活動を通じて、児童生徒に芸術に触れる機会が提供でき、情操の育成に寄与している。	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		72
62	就学費援助事業	教育総務課	23,669	24,489	24,018	25,681	20,366	118,223	・経済的な理由により就学困難な児童生徒に対し、必要な援助を行い、義務教育を円滑に受けられるように努めた。	・令和3年2月末現在認定者数 【要保護】(小)9名、(中)5名 【準要保護】(小)153名、(中)106名	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		73
63	ふるさと創生奨学資金貸付事業	教育総務課	1,553	1,294	1,639	3,923	2,473	10,882	・経済的な理由により、高等学校や大学に進学することが困難な者に対して奨学資金を貸し付けることにより、就学の機会を支援し、人材の育成に寄与した。	・令和2年3月末現在貸付者：21名 ・令和2年3月末現在返還者：41名	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		73
64	遠距離通学支援事業(スクールバス運行事業・通学費補助事業)	教育総務課	66,923	13,505	15,262	15,301	15,911	126,902	・遠距離通学の児童生徒に対し、通学費を補助する。平成29年4月から市内一律の基準とし、房南小学校区の富崎・神戸地区の一部、第三中学校の九重地区、第二中学校区の畑・神余地区及び西岬地区においては、スクールバスを運行する。 ・支給対象者：小学校2km以遠、中学校4km以遠から通学する児童生徒(学区外通学者は除く) ・「スクールバス通学」は「無料」、「路線バス通学」においては「運賃の実費」を支給。また、「自転車通学」においては「維持管理費」の一部を支給。	・遠距離通学に伴う保護者の負担軽減が図られた。 ・スクールバス運行により、通学する児童生徒の安全な通学手段を確保することができた。	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		73

第4次館山市総合計画「前期基本計画」政策評価シート 総括

事業No.	計画事業名	担当課 (R3回答課)	【参考】前期基本計画の事業費 決算(見込み)額(千円)						H28～R2の事業実施状況	事業の効果及び課題(総括)	達成度	方向性	統合先の 計画事業	計画書 ページ No.
			H28	H29	H30	R1	R2	計						
			65	学校施設の整備 充実	建築施設課 教育総務課	1,504,365	85,746	39,415						
66	学校給食センターの整備・運営	教育総務課	6,654	10,379	13,024	17,007	1,181,927	1,228,991	・経費の節減と財政負担の平準化などにメリットがあるとされるPFI手法の導入に切り替え、PFI事業者を決定し、建設及び開業準備を経て令和3年1月に供用開始をした。	・食数規模の減少及び1日の献立を、これまでの2献立から、小中学校及び幼稚園が同一の献立としたことで、建築面積の縮小や厨房機器を集約したことで事業費の削減に努めた。 ・建設工事と合わせて維持管理運営業務を一体とした事業運営としたことから、市の業務としての負担軽減が図られた。	3目標をやや下回る	4完了		73
67	学校用教材備品の整備	教育総務課	11,846	9,910	8,777	427	13,453	44,413	・老朽化した学校用備品の更新や必要な教材の購入を行い、学習環境の整備を図った。 (注)令和2年度 コロナ関連に伴い決算額(増)	・概ね各校の要望どおりの備品を整備することができた。	2おおむね目標どおり	2継続(現状維持)		73
68	少子化に対応した教育環境の向上	教育総務課	0	0	243	188	87	518	・H29.04 小中一貫校「房南学園」開校 ・H30.11 「館山市学校再編調査検討委員会」設置 ※ 館山市立小中学校の将来を見据えた学校のあり方の審議(合計9回実施 H30～R02) ・R02.12 学校再編調査検討委員会からの答申	・房南学園については、一貫校での合同行事などを通じて、児童生徒が交流しやすい環境となり、また、教員の交流により、指導力の向上が図られている。 ・学校再編調査検討委員会からの答申を受け、令和3年度以降、学校再編基本指針の改定及び中・長期的な視野に立った検討を行う。	2おおむね目標どおり	1継続(拡充)		73
69	学校区コミュニティの形成	教育総務課	230	230	230	220	225	1,135	・学校評議員の委嘱等 ・各校ホームページ、ブログ更新による地域等への情報発信	・学校ホームページ、ブログ等により情報発信が図られた。 ・地域住民等の多様な意見が、学校運営に反映される。	2おおむね目標どおり	2継続(現状維持)		73
70	情報教育環境の整備	教育総務課	5,940	6,269	2,954	37,017	435,334	487,514	・ICTを活用し、効果的な指導・学習を行った。 (注)令和2年度 GIGAスクール構想による高速ネットワーク環境及び1人1台端末の整備等に伴い決算額(増)	・ICTを効果的に活用したわかりやすく理解の深まる授業を実践した。 ・児童生徒の情報活用能力の育成を図った。	2おおむね目標どおり	1継続(拡充)		73
71	青少年健全育成体制の充実	生涯学習課	2,977	2,223	1,967	2,983	959	11,109	・青少年の健全育成のため、子ども会育成会連絡協議会事業や青少年相談員連絡協議会等への補助を行った。 ・第20期青少年相談員93人の委嘱を行った。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各種事業が中止となった。	・令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、親子写生大会の代替事業として小学生絵画コンクールを実施した。 ・キッズフェスタ館山は中止となったが、代替事業として「市内一斉パトロール」を実施した。	2おおむね目標どおり	2継続(現状維持)		75

第4次館山市総合計画「前期基本計画」政策評価シート 総括

資料2-3

事業No.	計画事業名	担当課 (R3回答課)	【参考】前期基本計画の事業費 決算(見込み)額(千円)						H28~R2の事業実施状況	事業の効果及び課題(総括)	達成度	方向性	統合先の 計画事業	計画書 ページ No.
			H28	H29	H30	R1	R2	計						
			72	放課後子供教室の推進	生涯学習課	4,310	3,860	4,041						
73	ふるさと体験活動の推進	中央公民館	84	61	16	40	0	201	・親子や青少年を対象に「たてやまワクワク探検隊」では、ホテル観察の実施、「沖ノ島探検隊」では、島内探検を実施した。 ・令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、各講座が中止となった。	・体験活動を通じて、館山の自然の豊かさ、良さを認識してもらうことができた。 ・青少年が自ら考えて行動することを学ぶことができた。 ・コロナ禍での開催のあり方が今後の課題である。	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		75
74	生涯学習講座・教室の開催	中央公民館	1,587	2,194	1,375	1,175	685	7,016	・成人講座、家庭教育講座、青少年講座を実施した。 ・地区公民館において、地域のニーズに配慮し、講座を実施した。 ・令和元年度は、台風15号等の影響により一部予定していた講座を中止した。 ・令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、ほとんどの講座が中止となった。	・講座の開催により、市民に対して様々な生涯学習の機会を提供することができた。 ・コロナ禍での開催のあり方が今後の課題である。	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		77
		図書館	70	70	70	60	6	276	・「大人のためのおはなし会」や「ティータイム朗読会」など、本や図書館への親しみをもち、楽しさを味わえる行事を実施した。	・図書館と地域のつながりを見直したり、本を通じて知識を深めたり、多様な本の楽しみ方を知るきっかけの場となった。 ・図書館そのものの更なる周知を図ることもできた。				
75	家庭教育事業の推進	中央公民館	1,288	1,242	1,251	1,204	1,307	6,292	・家庭教育学級の開設支援や子育て支援講座「ハッピーファミリー」を実施した。 ・家庭教育や子育てに対する相談窓口の運営を行った。 ・令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、ほとんどの家庭教育学級が中止となった。	・家庭教育学級などの事業を通じて、家庭教育力の向上や保護者同士の交流や情報交換の場を提供することができた。 ・コロナ禍での開催のあり方が今後の課題である。	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		77
76	児童サービスの充実	図書館	0	0	0	0	0	0	・児童資料の収集・提供及び「おはなし会」「わらべうたの会」や図書館業務の体験講座を行った。 ・学校への支援として、団体貸出や専門職である司書が出張してのブックトークやおはなし会、学校図書館の運営相談等を行った。	・学校の団体貸出利用が増加傾向にあり、特に小学校では活用が図られている。 ・学校や幼稚園・こども園等への出張によるおはなし会・ブックトークの実施、学校図書館等の運営相談の要望も高まっている。	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		77
77	図書館機能の充実	図書館	7,366	7,366	7,715	7,611	7,547	37,605	・資料の購入・寄贈受入を行い、資料を基に利用者に貸出や調査相談等を行った。 ・図書館システムを用い、確実な資料管理に努めた。 ・本と利用者をつなぎ、図書館を活用してもらうきっかけとなるよう、「ハッピーバッグ(本の福袋)」貸出や、特設コーナーを設置し、テーマを設けての資料の展示・貸出を行った。 ・令和3年2月から、いつでもどこでもスマートフォンやタブレット等で電子書籍の読める電子図書館サービスを開始した。	・館内での資料利用や調査相談など、貸出以外にも資料活用がされている。 ・テーマ展示等が、利用者に対し、図書館資料の幅広さを提示し、これまで手に取らなかった資料に出会うきっかけともなっている。 ・電子図書館サービスの周知と電子書籍の内容の充実が必要である。	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		77

第4次館山市総合計画「前期基本計画」政策評価シート 総括

資料2-3

事業No.	計画事業名	担当課 (R3回答課)	【参考】前期基本計画の事業費 決算(見込み)額(千円)						H28～R2の事業実施状況	事業の効果及び課題(総括)	達成度	方向性	統合先の 計画事業	計画書 ページ No.
			H28	H29	H30	R1	R2	計						
			78	サークル活動の支援	中央公民館	300	300	300						
		博物館	0	0	0	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 市民サークル「城山古文書会」へ、助言者として学芸員が参加し、より正確性の高い学習機会を確保した。 	<ul style="list-style-type: none"> 自主的な学習活動など市民の自己表現の場としての活動に寄与した。 	2 継続(現状維持)			
79	生涯学習ボランティア制度の充実	生涯学習課	15	0	0	0	0	15	<ul style="list-style-type: none"> 出前講座、マイスクールボランティアなど市民の豊富な知識や経験等を活用し、学校支援事業や出前講座事業を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、学校敷地へ立ち入ることへの制限があったため実施回数は前年を下回ったが、令和元年度以前は、ほぼ一定の回数を実施していた。 	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		77
		博物館	14	9	9	1	0	33	<ul style="list-style-type: none"> ミュージアムサポーター「甲冑士」による歴史体験教室「甲冑を着よう」を開催した。 ミュージアムサポーター「絵図士」による文化財マップを19点作成し、成果品は、博物館HP(フィールドミュージアム)で公開し、また、博物館本館において無料配布している。 (R2)新型コロナウイルス感染症対応(人同士の至近距離、接触を避ける)のため、歴史教室「甲冑を着よう」を中止した。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域人材の活用によるボランティアの拡充、博物館事業の充実を図った。 甲冑士ボランティアの高齢化等に伴う従事者減少に対応するため、平成31年4月1日から、歴史体験教室「甲冑を着よう」の開催日を、毎月毎日曜日から毎月第2・第4日曜日に変更した。同教室については、今後の運営方法について検討する。 				
80	郷土に関する展覧会・講座等の充実	博物館	1,215	1,870	2,049	652	859	6,645	<p><展示事業></p> <ul style="list-style-type: none"> 常設展示の他に、企画展・特別展を開催(R1の台風被害対応に伴い、新・地区展「館野」を中止した)。 H28年度～R2年度総入館者数：261,173人 企画展・特別展 延べ20回開催(期間中入館者：165,859人) <p><主な教育普及事業></p> <ul style="list-style-type: none"> 歴史体験教室「甲冑を着よう」(延べ209回・1,977人) 歴史教室「古文書を読んできよう」(延べ146回・5,336人)、「活弁八犬伝」(延べ10回・151人)、「わたしの町の歴史探訪」(延べ4回・137人) 展示解説会(延べ20回・434人) 講演会(延べ1回・124人) ワークショップ(延べ2回・37人) なつやすみ宿題大作戦(延べ8回・102人) 安房学講座〔共催〕(延べ24回・1,499人) <p><指定管理者自主事業></p> <ul style="list-style-type: none"> 「館山芸術大使in館山城 画狂人 井上文太展」(令和3年3月31日～令和4年3月31日) 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の歴史、文化遺産を展示、公開することによって、郷土を知る手がかりを提供し、市民の歴史への興味や関心に応え、情報発信するとともに、専門家による解説を通じて正確な情報理解がなされるように努めた。 館山城の運営は、指定管理者との協働を継続し、魅力ある城山エリアの創出を図る。 	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		79
		中央公民館	42	35	35	21	21	154	<ul style="list-style-type: none"> 一般市民を対象とした「ふるさと講座」については、地域の歴史や文化、自然についてをテーマとした講座を5回実施した。 「安房地区公民館連携講座」は安房3市1町が各1回ずつ担当し、実施した。 「安房地区公民館連携講座」は、令和元年度は台風15号等の影響により4回予定していた講座が2回中止となり、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 「ふるさと講座」に参加し郷土に関する知識を得たことで、参加者の「ふるさとへの愛着」が育まれた。 コロナ禍での開催のあり方が今後の課題である。 				

第4次館山市総合計画「前期基本計画」政策評価シート 総括

資料2-3

事業No.	計画事業名	担当課 (R3回答課)	【参考】前期基本計画の事業費 決算(見込み)額(千円)						H28～R2の事業実施状況	事業の効果及び課題(総括)	達成度	方向性	統合先の 計画事業	計画書 ページ No.	
			H28	H29	H30	R1	R2	計							
			81	郷土資料の収集・保存と提供	博物館	872	1,002	4,137							272
		図書館	0	0	0	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土資料の寄贈受入、購入、整理及び利用者への資料提供を行った。 ・「ウィキペディアタウンin館山」などの事業を通し、地域資源の再発見や郷土資料の活用につなげることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土に関する資料は寄贈が多いが、データを細かく入力することで、資料の内容もある程度わかるようにし、検索等でも見つけやすくしている。 ・一般資料についても、地域ゆかりの著者や地域に関する記載等があるものはデータ入力を行い、検索等で見つけやすくなるようにしている。 	2	2 継続 (現状維持)			
82	博物館機能の充実	博物館	6,273	13,272	18,165	16,844	10,910	65,464	<p><主な設備・施設改修></p> <ul style="list-style-type: none"> ・設備の老朽化等に伴う措置を施した。 (H28) 本館外壁補修・本館浄化槽設備改修 (H29) 館山城照明設備改修・本館水道管漏水補修 (H30) 本館暖房循環ポンプ改修・本館塀瓦補修 (R1) 台風災害に伴う補修・本館収蔵庫棟瓦補修外2件 (R2) 国「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」事業 <p><受付・案内業務の民間委託></p> <p>平成29年4月1日～令和元年11月30日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本館、八犬伝博物館(館山城)他における受付、案内業務を民間業者に委託した。 <p><指定管理者制度の導入></p> <p>令和元年12月1日～令和6年11月30日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第三次館山市行財政改革方針に基づき、八犬伝博物館の施設運営業務、維持管理業務の一部と本館・八犬伝博物館の受付案内業務、利用料金等徴収業務に指定管理者制度を導入した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・設備更新、施設設備の延命化と適正な機能保全に努めた。 ・指定管理者制度導入に伴い、入館料徴収事務や入館統計、運営業務の一部、維持管理業務の一部が縮減された。 ・指定管理者により、新たな自主事業の展開が図られた。 (城山公園と一体となったホームページ運営による情報発信、指定管理者作成商品の物販、節分イベント・謎解きゲーム等の実施、館山城における企画展示の実施(井上文太展)) ・(R2)新型コロナウイルス感染症対策のため、本館・館山城を臨時休館した(期間：令和2年2月29日～5月31日)。 ・新型コロナウイルス感染症予防対策は事態の収束まで継続。 ・国「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」事業により、衛生環境対策「本館トイレ洋式化等改修工事」を実施した。 	2	2 おおむね目標どおり	2 継続 (現状維持)		79
83	文化財の保存・活用	生涯学習課	100	265	257	1,064	261	1,947	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財を説明するための看板等の整備事業を推進し、文化財の説明看板を設置した。 ・破損等があった看板等の修繕等を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指定文化財等の説明看板を整備することにより、来訪者に対する文化財への理解を深めることができる。 	2	2 おおむね目標どおり	2 継続 (現状維持)		79
84	観光スポットとしての歴史文化遺産の活用	生涯学習課	3,910	479	585	1,063	330	6,367	<ul style="list-style-type: none"> ・貴重な戦争遺跡を後世に伝え、平和学習の場としての活用を図り、文化振興及び観光振興に資するため、赤山地下壕跡を公開している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・赤山地下壕跡については、平成16年の一般公開以来、入場者は増加し続けており、平成30年10月には累計30万人に達した。観光客にとって手軽に見学できる施設として人気が高まっている。 	2	2 おおむね目標どおり	2 継続 (現状維持)		79

第4次館山市総合計画「前期基本計画」政策評価シート 総括

事業No.	計画事業名	担当課 (R3回答課)	【参考】前期基本計画の事業費 決算(見込み)額(千円)						H28~R2の事業実施状況	事業の効果及び課題(総括)	達成度	方向性	統合先の 計画事業	計画書 ページ No.
			H28	H29	H30	R1	R2	計						
			85	民俗芸能伝承者の育成	生涯学習課	400	0	0						
86	国史跡「里見氏城跡 稲村城跡」の保存・整備	生涯学習課	408	456	408	457	486	2,215	<ul style="list-style-type: none"> 稲村城跡の整備のため、地区に対する業務委託事業として草刈り等の環境整備を行っている。また、臨時駐車場の稲市有地から稲村城跡までの案内看板を製作した。 	<ul style="list-style-type: none"> 国指定史跡としての稲村城跡の整備を行うことにより、史跡に対する地域の理解と、来訪者に対する観光資産としての活用を図ることができる。 	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		79
87	ふるさと情報の発信強化	博物館	38	38	38	401	20	535	<ul style="list-style-type: none"> 博物館が調査、収集した地域の歴史、民俗等の情報を、「たてやまフィールドミュージアム」として公開し、データを蓄積した。 文化庁が運営するポータルサイト「文化遺産オンライン」に収蔵資料の一部を掲載し、以前から要望のあった里見八犬伝、戦国武将里見氏、郷土史関連の収蔵資料をインターネットで公開した。 従前ファイルサーバーの劣化に対応するため、観光みなど課所管のサーバーに移管し、データ保全とサーバー使用料の削減を図った。 国「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」事業として、録画、編集機材の導入により、従来の来館者対象の展示解説会を補完するかたちで、学芸員の説明による展示紹介、解説動画を作成し、博物館HPで公開した。 	<ul style="list-style-type: none"> インターネット上で公開することにより、館山市の歴史や文化に関する情報資産を活用することができた。 展示解説等の動画公開は、コロナ禍における博物館運営の方策として、今後も積極的に実施する。 	2 おおむね目標どおり	1 継続(拡充)		79
88	芸術文化活動の充実	生涯学習課	2,201	2,201	2,201	2,201	279	9,083	<ul style="list-style-type: none"> 市民に優れた文化鑑賞の機会を提供するため、音楽鑑賞協会・芸術文化協会・茶道連盟の活動に対して助成を行った。 令和2年度事業(新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止) 音楽鑑賞協会(定期演奏会中止) 芸術文化協会(文化祭中止) 茶道連盟(茶会中止) 	<ul style="list-style-type: none"> 各団体に対する補助を行うことにより、円滑な事業の実施が行える。 また、市民に対し優れた文化鑑賞等の機会を提供することができる。 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったが、今後、事業が実施できるよう各団体と対策を検討する。 	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		80
89	全国大学フラメンコフェスティバルの開催	生涯学習課	2,096	2,300	2,190	2,737	326	9,649	<ul style="list-style-type: none"> 全国の大学生等と連携し、他に類の無いイベントである全国大学フラメンコフェスティバル及び花火とフラメンコ等の関連事業を実施した。 令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大が収束していない状況であり、来年度開催の準備のためとして中止となったが、チューブによる全国大学フラメンコフェスティバルの紹介動画の配信等を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 参加者間の交流、市外等からも来場者を迎えることで交流人口の拡大が図られ、館山市の南欧風のまちづくりのイメージアップにも繋がる。 令和2年度以降、フラメンコ団体の体制整備を進めているが、未だ整備が整っていないため会議を重ね、早急な体制整備を構築していく。 	2 おおむね目標どおり	3 継続(縮小)		80
90	生涯スポーツの機会提供	スポーツ課	1,716	1,561	1,568	1,389	1,559	7,793	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ推進委員等と連携し、高齢化社会に対応した生涯スポーツを推進した。 総合型地域スポーツクラブ「館山ファミリースポーツクラブ“わかしお”」の活動支援を行った。 オーシャンフェスタ館山や南房駅伝大会等のスポーツ大会を開催し、スポーツに親しむ機会を提供した。(令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止) スポーツを通じた市民の健康とスポーツ文化の継承を目的に「スポーツ健康都市」を宣言した。 	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ基本法において、国民の心身の健全な発達、明るく豊かな国民生活の形成、活力ある社会の実現などが目的とされており、市民がスポーツに関わることにより、健康体力保持増進が図られ、社会全体では医療費の抑制による財政健全化や地域経済、コミュニティの活性化など多様な効果が期待できる。 新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛要請等により運動機会が減少する中、新しい生活様式に即したスマートフォンアプリを活用したウォーキングイベントを実施するなどし、市民の運動習慣の機運醸成が図られた。 	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		82

第4次館山市総合計画「前期基本計画」政策評価シート 総括

資料2-3

事業No.	計画事業名	担当課 (R3回答課)	【参考】前期基本計画の事業費 決算(見込み)額(千円)						H28~R2の事業実施状況	事業の効果及び課題(総括)	達成度	方向性	統合先の 計画事業	計画書 ページ No.
			H28	H29	H30	R1	R2	計						
			91	社会体育団体の育成支援	スポーツ課	7,072	6,415	6,872						
92	社会体育施設の整備充実	スポーツ課	1,561	5,773	18,409	1,153	24,280	51,176	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度施設使用料改定 施設の維持管理、整備工事 市民運動場…更衣室等空調機設置工事、相撲場上屋撤去工事、野球場芝生段差改修工事、多目的グラウンド防球ネット設置工事、庭球場ネット台風被害復旧工事、トイレ器具改修工事(9月補正 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金) 温水プール…ポイラー水位調節器交換工事、照明設備改修工事、男女トイレ便器改修工事、駐輪場設置工事、PCB分析に伴う高圧コンデンサ交換等工事、内壁改修工事、非常口台風被害復旧工事、軒天復旧工事 市民体育館…雨樋台風被害復旧工事、入口天井雨漏り修繕工事 50mプール…漏水補修工事、外周フェンス改修工事 市営市民運動場等木等伐採業務委託工事…災害復旧工事 第一柔剣道場…排熱対策改善工事 出野尾多目的広場…防球ネット台風被害復旧工事 市営弓道場…矢止め板台風被害復旧工事 	・施設の改修等、維持管理を行い、利用者が安全安心に利用できる環境づくりに努めた。	3 目標をやや下回る	1 継続(拡充)		82
93	学校体育施設開放	スポーツ課	1,160	1,070	1,032	968	315	4,545	・小学校10校及び中学校4校の体育館・グラウンド、中学校3校の武道館、小学校8校のプール等の学校体育施設をスポーツ少年団やスポーツ愛好団体等に対して開放事業を行った。 なお、令和2年度については、新型コロナウイルス対策の為、施設開放に制限を行った。	・学校体育施設の開放により、スポーツ少年団やスポーツ愛好団体など様々な市民のスポーツ活動の場を提供し、生涯スポーツを推進した。	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		82
94	オリンピック・パラリンピックのレガシー(遺産)を見据えたまちづくり	スポーツ課	1,948	4,262	8,376	6,161	1,335	22,082	<ul style="list-style-type: none"> 2020年東京オリンピック・パラリンピックの事前キャンプ誘致に向けた取組を進めた。①千葉県が進めるオランダの誘致、②組織委員会のガイド掲載、③オランダを相手国として、ホストタウンに登録された。 タンDEM自転車の公道走行解禁に向けて、県警に要望活動を行い、2018年4月から県内の公道での走行が解禁された。 2018年の日本水泳連盟のOWS競技(OWSオーシャンズカップ、パンパシフィックOWS、日本選手権)について、館山市で開催された。 東京パラリンピック事前キャンプ誘致に向け、温水プールスロープ設置工事を実施した。 2019年は、これまでの誘致活動が実を結び、オランダ・USAトライアスロンが、館山市内で、事前キャンプを実施した。実施後の評価もよく、東京オリンピック直前にも、事前キャンプを実施する予定となっている。 日本水泳連盟のOWS競技(日本選手権)が館山市で開催されているが、2020年は台風の影響により中止となった。 	<ul style="list-style-type: none"> 2016年7月に千葉県がオランダ リンピック委員会と「2020年東京オリンピック・パラリンピックにおける事前キャンプに係る合意書」を結び、この中で館山市での4競技も盛り込まれた。 合意書を受け、オランダの競技関係者がこれまでに4回延べ9人が想定施設等を視察し、高評価を得た。 公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会の東京2020事前キャンプガイドに館山市が掲載された。 国内オリンピックとの交流やオランダ視察の受入れ等が評価され、国の第五次ホストタウンに登録された。 オランダのロードレースからの指摘を受け、タンDEM自転車の公道走行について、関係団体とともに要望活動を行い、千葉県警が千葉県道路交通法施行細則の改正を行い、2018年4月から県内の公道でのタンDEM自転車の走行が可能となった。 2016、17年にお台場で開催されたOWS日本選手権が、水質の関係から2018、19年と北条海岸で開催された。 USAトライアスロンの館山での事前キャンプに係る視察受入れを行った。 2019年、オランダ・USAトライアスロンが事前キャンプを実施。選手がキャンプの状況をSNSなどで発信したことなどにより、館山を世界中にアピールできた。その後も、自転車愛好家などの来館者は多く、交流人口が活発化している。 	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		82

第4次館山市総合計画「前期基本計画」政策評価シート 総括

資料2-3

事業No.	計画事業名	担当課 (R3回答課)	【参考】前期基本計画の事業費 決算(見込み)額(千円)						H28～R2の事業実施状況	事業の効果及び課題(総括)	達成度	方向性	統合先の 計画事業	計画書 ページ No.
			H28	H29	H30	R1	R2	計						
			95	館山若潮マラソン大会の魅力向上	スポーツ課	45,270	48,022	48,588						
96	スポーツイベントの開催	スポーツ課	1,250	1,250	1,250	1,270	0	5,020	・千葉県小学生剣道大会(H28年度：60チーム・H29年度：70チーム・H30年度：71チーム・R元年度：68チーム) ・関東中学生剣道大会(H28年度：94チーム・H29年度：86チーム・H30年度：84チーム・R元年度：中止) ・全国高校剣道大会(H28年度：103チーム・H29年度：104チーム・H30年度：106チーム・R元年度：82チーム) ・館山わかしおトライアスロン大会(H28年度：1,094人・H29年度：989人・H30年度：902人・R元年度：1,193人) ・R2年度はいずれも中止。 ・館山OWSフェスティバル等の大会を支援した。	・古くから剣道が盛んな地であることを生かし、小学生は県内、中学生は関東、高校は全国からの参加、またトップアスリートが出場するトライアスロンやOWS等の大会の開催、支援により交流が図られている。 ・令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、ほとんどのスポーツイベントが中止となった。	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		82
97	国際交流の推進	市民協働課	2,273	2,469	4,184	3,133	214	12,273	・国際交流協会の活動を支援するとともに、姉妹都市交流などに対し、新たな交流者・協力者の獲得に努めた。 ・姉妹都市締結10周年を迎えたポーツティープンス市と記念事業を行い、友好の歴史を振り返り、更なる交流の発展に努めた。 ・姉妹都市との交流事業を継続している。	・姉妹都市を訪れた市民訪問団には、小学生から高校生までの児童・生徒も多く参加し、青少年育成にもつながった。 ・ホームステイやスポーツ交流を通し、若い交流者・協力者が増えた。	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		84
98	外国語表記による情報発信	市民協働課	0	0	0	0	0	0	・他部署と連携し、パンフレット等への英語表記を進めるとともに、英語版ホームページの改良・改善に努めた。	・災害時や緊急時の外国人相談窓口や、情報収集について、英語版ホームページに掲載し、市内に滞在する外国人向けに周知を行った。	3 目標をやや下回る	1 継続(拡充)		84
99	地域間交流の推進	市民協働課	0	0	0	0	0	0	・自治体間でのイベントへの招待や相互参加等を通じた交流を行った。 ・H28.10月の鳥取中部地震の際には、災害時相互応援協定を締結している鳥取県倉吉市へ人材派遣や物資の提供のほか、災害支援のための義援金及びふるさと納税寄附金の代理受入を行った。	・継続して行っている各種イベントでの交流のほか、オンライン開催のイベントにも参加した。また、左記のような緊急時の具体的な対応などもあり、より自治体間の連携を高めることができた。	3 目標をやや下回る	2 継続(現状維持)		84

第4次館山市総合計画「前期基本計画」政策評価シート 総括

資料2-3

事業No.	計画事業名	担当課 (R3回答課)	【参考】前期基本計画の事業費 決算(見込み)額(千円)						H28~R2の事業実施状況	事業の効果及び課題(総括)	達成度	方向性	統合先の 計画事業	計画書 ページ No.
			H28	H29	H30	R1	R2	計						
			100	「館山湾振興ビジョン」の推進	観光みなど課	0	0	0						
101	海路の充実	観光みなど課	7,086	7,588	6,490	3,442	1,374	25,980	<ul style="list-style-type: none"> ・クルーズ客船の寄港、高速ジェット船の定期航路化、官公庁船等の一時寄港を誘致するため、船会社等に、積極的なポートセールスを実施した。 ・地方創生推進交付金を活用し、東海汽船(株)高速ジェット船の東京・館山航路の認知度向上を図り、海路を活用した交流人口の拡大と、“渚の駅”たてやまを核とした地域の活性化を図るため、モニターツアーの実施、宣伝・プロモーション活動を強化した。 ・平成28年度に二次交通の充実を図るため、地方創生推進交付金を活用し、“渚の駅”たてやまにレンタサイクル10台を導入した。 ・令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により高速ジェット船春の季節運航(館山寄港便)が全便運休となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地方創生推進交付金を活用した海路利用促進事業による新聞社や雑誌等による様々なメディアを活用した東京・館山航路のPRを行った結果、平成30年度の当該航路の乗下船の人数が1,150人となり対前年比198%となった。 ・これまでのポートセールスの結果、平成30年度は2隻のクルーズ船の寄港があった。(にっぽん丸2回※内1回は旅行会社が企画したチャータークルーズ) ・平成29年4月に国立研究開発法人海洋研究開発機構(JAMSTEC)学術研究船「白鳳丸」の寄港が実現し、一般公開も行われた。 ・市内レンタサイクルの実績は、平成28年度3,931台、平成29年度4,330台、平成30年度4,806台と増加している。 	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		89
102	海辺のまちづくり推進事業	観光みなど課	83	1,273	76	0	0	1,432	<ul style="list-style-type: none"> ・民間団体がウミホテルを地域資源として活用できるよう平成29年度には、ウミホテルの長期飼育環境の整備や観察会用備品として、顕微鏡やテレビを購入した。また、平成30年度には、器具の使い方やウミホテルの生態についてのレクチャーを行った。令和元年度は8件の備品貸出を行った。 ・例年夏季に行っているウミホテル観察会は、民間団体主管により実施した。 ・館山夕日桟橋におけるウミホテル観察会や釣り大会の後援を行った。 ・海水浴場開設期間の北条海岸にビーチバレーコートを設置した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ウミホテル観察会(4日間合計で136組、405名参加)、釣り大会(42名)の参加があり、館山湾を拠点とした交流人口の拡大が図られた。(平成30年度) ・民間団体がバスツアーなどを対象にしたウミホテル観察会を開催するようになり、地域経済の活性化が図られた。 ・ビーチバレーコート 合計245名の利用があり、北条海岸の賑わい創出に資することができた。(令和元年度) 	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		89
103	海・浜空間利用者のマナー向上	観光みなど課	1,389	1,328	1,078	1,143	1,106	6,044	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度は新型コロナウイルス等感染防止対策のため海水浴場を不開設としたが、マナー等の啓発活動を継続するため、海岸施設等監視監によるパトロールを実施した。 ・ゴールデンウィークや海水浴場開設期間の海・浜の利用者が増加する時期を中心に、関係機関と連携し、合同パトロールによる啓発活動を実施した。(令和2年度 5回実施) ・令和元年度までの海水浴場開設期間中、海水浴場監視監による指導・監督を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度は一部ゴミ放置等マナー違反の来訪者があったが、合同パトロールや海岸施設等監視監によるパトロールにより、マナー向上の周知が図られた。 ・令和元年度、海水浴場区域内で大きな事故もなく、安全が守られた。 ・水上オートバイや小型ボートなどの悪質な航行に関する苦情が減少したことから、利用者のマナー向上が図られたと考える。しかし、令和2年度に海水浴場が不開設となり一部のマナーの悪い者が問題となった。 ・ルールブックやマナー条例周知チラシの作成や普及活動が認められ、PWS安全協会から水上オートバイの無償貸与を受け、これまで以上に海・浜空間利用者の安全が図られた。 	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		89

第4次館山市総合計画「前期基本計画」政策評価シート 総括

資料2-3

事業No.	計画事業名	担当課 (R3回答課)	【参考】前期基本計画の事業費 決算(見込み)額(千円)						H28～R2の事業実施状況	事業の効果及び課題(総括)	達成度	方向性	統合先の 計画事業	計画書 ページ No.
			H28	H29	H30	R1	R2	計						
			104	海水浴場の開設	観光みなど課	22,511	22,867	21,341						
105	海岸利活用事業	観光みなど課	2,435	1,800	895	450	0	5,580	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度は新型コロナウイルス等感染防止対策のため「北条海岸BEACHマーケット」を実施できなかった。 北条海岸芝生広場等に「北条海岸BEACHマーケット」をH28年度は6回、H29年度は4回、H30年度及びR1年度は2回開催した。 	<ul style="list-style-type: none"> R1年度は平均来場者が5,000人を超え、100以上のブースが並び、回を重ねる毎にイベントの認知度も向上している。 他にはない「美と健康」を提供するライフスタイルが北条海岸から発信され、新たな海岸の利活用が促進され、賑わいが創出された。 県北や県外からの出店もあり、イベントとしての注目度も非常に高まってきた。 	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		89
106	特定地域振興重要港湾館山港の整備・利用の促進	観光みなど課	0	31,590	8,572	4,950	7,029	52,141	<ul style="list-style-type: none"> 港湾管理者の千葉県に対し、「館山港港湾振興ビジョン」に掲げた棧橋規模の拡充について継続して要望した。 平成28年8月には、千葉県知事に対し、クルーズ船受入れのための港湾整備に係る要望書を提出した。また、同年9月には千葉県・千葉市・木更津市・館山市が合同で国に対し、クルーズ振興を踏まえた港湾整備の促進について要望活動を行った。 H30年度に千葉県が単独事業として、館山夕日棧橋に接岸可能な海外船舶の調査委託を実施した。R元年度は棧橋歩道部の老朽化に対する修繕の調査設計を行った。また、R2年度に千葉県が館山夕日棧橋岸壁部の一部拡幅に係る基本設計及び詳細設計を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> 国、県への要望活動を継続的に実施し、港湾整備の必要性を訴えた。 要望をしていた館山夕日棧橋の拡充について、一部ではあるがH30年度に千葉県が二号物揚場を竣工、供用開始したことにより、更なるプレジャーボート等の係留が可能となった。 	3 目標をやや下回る	2 継続(現状維持)		89
107	新観光立市たてやま行動計画の策定	観光みなど課	0	0	0	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 2020年東京オリパラははじめ観光を取り巻く環境は、旅行形態の多様化や国際観光需要の増加など著しく変化しており、適宜の対応が求められるため、本基本計画及び総合戦略の事業の中で観光振興施策を進めた。 	<ul style="list-style-type: none"> 本基本計画及び総合戦略の中で、広域連携による観光PR、サイクリングや自然体験などの体験観光、館山炙り海鮮井などご当地グルメのブランド化、台湾をメインターゲットとしたインバウンドの推進などが図られた。 	4 目標をかなり下回る	6 廃止		90
108	観光産業活性化支援事業	観光みなど課	17,400	16,062	16,179	18,431	31,605	99,677	<ul style="list-style-type: none"> 館山市観光協会、館山市温泉事業組合、観光振興支援事業への補助金の交付及び観光案内業務を委託し、観光入込客数の増加に取り組んだ。 令和2年度に新型コロナウイルス感染症の影響により急減した観光業に対し、クラウドファンディング事業、キャッシュレス決済ポイント還元事業、広報プロモーション推進事業を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> 館山市観光協会補助金として、体験ふれあい事業の推進として、個人体験向けの冊子作成及びHPの開設を行い、従来の団体向けから個人向けへの対応が図られた。 館山市観光協会のHPに多言語サイト開設により、外国人の受入環境の強化が図られた。 観光振興支援事業補助金では、新たな地域資源の開発・活用が図られた。 令和2年度に新型コロナウイルス感染症の影響に対する各種事業を実施することで、地域経済の回復及び観光需要喚起が図られた。 	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		90

第4次館山市総合計画「前期基本計画」政策評価シート 総括

資料2-3

事業No.	計画事業名	担当課 (R3回答課)	【参考】前期基本計画の事業費 決算(見込み)額(千円)						H28~R2の事業実施状況	事業の効果及び課題(総括)	達成度	方向性	統合先の 計画事業	計画書 ページ No.
			H28	H29	H30	R1	R2	計						
			109	観光広域連携	観光みなと課	2,327	4,334	3,331						
110	外国人観光客受け入れ態勢等の整備	観光みなと課	3,809	4,430	4,485	2,314	106	15,144	<ul style="list-style-type: none"> ・公衆トイレ洋式化及びWifi環境の整備。 ・中国語(繁体字)版パンフレット・ガイドブック作成やブログ・FBによる情報発信。 ・館山市観光協会にて多言語対応のHPを開設。 ・観光協会等との協働による台湾トップセールスなど積極的なプロモーション活動を実施した。 ・南房総観光連盟、千葉県や自転車関係団体など広域連携による台湾へサイクルツーリズムプロモーション活動を実施。 ・館山駅東口と西口に多言語(日・英・韓・中)案内看板を設置 ・令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により各種事業を実施することができなかったが、コロナ収束後、すぐにインバウンド事業が実施できるようSNSでの情報発信やオンラインでの交流を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハードソフトの両面が強化された。 ・外国人プロガーの来訪のほか、台湾からの教育旅行や各種ツアーなどが実現した。 ・台湾の旅行関係者との人脈が強化された。 	1 目標を上回る	2 継続(現状維持)		90
111	体験型ツーリズムの促進	観光みなと課	0	0	0	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・館山市観光協会において、個人旅行者向け体験ガイドブックの作成・配布、HPでのPRを行った。 ・個人体験をメインとした体験事業者で構成する「館山体験観光の街づくり協議会」が組織された。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人旅行者向けの体験ガイドブック作製及び協議会が組織されたことにより体験事業者との連携強化が図れた。 	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		90
112	グリーン・ブルーツーリズムの推進	農水産課	0	0	0	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・民間団体が実施する農漁業体験、収穫体験に対して情報の集約及び積極的なPRを行う等の支援を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体験観光等を通じて「農業・漁業」に対する理解を深め、新規就農等に繋げる、担い手育成、生産力の向上が図られた。 	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		90
113	観光施設管理事業	観光みなと課	48,894	57,746	54,460	56,078	44,982	262,160	<ul style="list-style-type: none"> ・来訪者の利便性を高めるため、公衆トイレの洋式化と日々の清掃を実施した。 ・市内を周遊してもらい、滞在時間の拡大を図るため、市内の観光案内看板等の維持管理に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公衆トイレの洋式化及び日々の清掃により来訪者が快適に利用することが出来た。 ・観光案内看板の適切な管理により、市内周遊の利便性が維持された。 	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		90

第4次館山市総合計画「前期基本計画」政策評価シート 総括

資料2-3

事業No.	計画事業名	担当課 (R3回答課)	【参考】前期基本計画の事業費 決算(見込み)額(千円)						H28~R2の事業実施状況	事業の効果及び課題(総括)	達成度	方向性	統合先の 計画事業	計画書 ページ No.
			H28	H29	H30	R1	R2	計						
			114	観光物産ブランド化の推進	食のまちづくり推進課	0	0	0						
115	観光資源の組み合わせによる館山ブランドの向上	観光みなど課	0	0	0	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・官民広域連携によるサイクリングと食を組み合わせたサイクリングイベント(ステーションライド等)開催や、観光スポット、グルメ、宿情報を網羅したサイクリングガイドブックの作成・配布を行った。 ・マリンスポーツ、サイクリング、音楽、グルメ等様々なコンテンツを組合せたイベント「北条海岸ビーチマーケット」を開催。令和2年度は新型コロナウイルス等感染防止対策のため不開催。 ・広域連携事業で各種観光資源を組み合わせ、一つのテーマ性を持たせた(寺社巡りや、戦跡巡り)モデルコースを作成し、モニターツアーを実施する事で、好評価を得られ、これらのモデルコースを各種商談会にて、エージェント向けにPRした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者等に館山の魅力ある観光資源をPRすることができた。 ・エージェント向けにPRしたモデルコースが、実際に商品化へ繋がった。 	2 おおむね目標どおり	8 他事業に統合	(No.118)観光情報の発信・PR	91
116	「館山ふるさと大使」・「館山ふるさと特使」制度による館山市のPR及び域内活動の活性化	企画課	161	178	231	197	99	866	<ul style="list-style-type: none"> ・館山市のPR・情報発信に期待ができる人材として、館山ふるさと大使(7名)・館山ふるさと特使(6名+1団体)への委嘱を行った。 (H28:大使1名、特使1名) (H29:大使2名、特使3名) (H30:大使1名、特使1名+1団体) (R1:大使1名) (R2:大使2名、特使1名) 	<ul style="list-style-type: none"> ・大使や特使の方自身の活動の中で館山市のPRを行っていただく他、市ホームページやSNS、掲示物等で委嘱の情報やイベント活動等について掲載することで、館山市のPR効果を高めることができた。 	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		91
117	観光イベント事業	観光みなど課	13,425	15,082	14,038	9,004	130	51,679	<ul style="list-style-type: none"> ・館山湾花火大会について、平成28年度から平成30年度は、天候不順による延期等のため入込が少なく、令和元年度は、天候に恵まれ、95,000人の入込となり、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。 ・南総里見まつりについて、平成30年度は、天候に恵まれ95,000人の入込となり、令和元年度は台風被害、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。 ・たてやま海まちフェスタについて、平成30年度は、天候不順のため中止となり、令和元年度は、天候不順により一部アトラクションを中止としたものの9,496人の入込となり、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・天候不順等による延期や中止はあるものの、これらのイベントを通じて館山の魅力を地域内外へ発信することが出来た。 	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		91

第4次館山市総合計画「前期基本計画」政策評価シート 総括

資料2-3

事業No.	計画事業名	担当課 (R3回答課)	【参考】前期基本計画の事業費 決算(見込み)額(千円)						H28~R2の事業実施状況	事業の効果及び課題(総括)	達成度	方向性	統合先の 計画事業	計画書 ページ No.
			H28	H29	H30	R1	R2	計						
			118	観光情報の発信・PR	観光みなど課	2,545	2,856	1,512						
119	マスコットキャラクター活用によるプロモーション	観光みなど課	1,175	1,070	1,315	1,469	1,531	6,560	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントや観光キャンペーンへの出演、印刷物への活用等によるPRを行った。 ・民間事業者によるダッペエグッズ(マラソングッズ、あんばん)が製作販売された。 ・著作権管理会社とダッペエの使用手続きについて協議したしたが、著作権の管理上、手続きの簡素化は難しいとの結論に至った。 ・被災後、ボランティアが自ら制作するTシャツにダッペエを使用したいとの相談を受け、販売を行わない復興支援目的のものだけ無料で使用を許可するよう取り計らい、イメージアップにつなげた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ダッペエを活用した各種イベントへの出演等により、館山市のイメージアップが図られた。 	2 おおむね目標どおり	8 他事業に統合	(No.118) 観光情報の発信・PR	91
120	館山の魅力発信事業	企画課 情報課	97	900	900	900	900	3,697	<ul style="list-style-type: none"> ・若手PTの取組として、館山の観光名刺デザインデータを作成し、一般へ公開した。 ・SNS(フェイスブック、ツイッター)による情報発信を積極的に行った。 ・地方創生人材支援制度活用による民間人材を参与として招聘し、各種情報発信や事業実施に係るシティプロモーションの視点導入などのアドバイスを受けた。 ・渚の駅外壁デザイン、・VRコンテンツ、観光ガイドブック、PRチラシ、Webコンテンツ、恋人の聖地パンフレット、ふるさと納税カタログ、インスタグラムフォトコンテストほかプロモーション媒体への助言 ・市職員や関係事業者・団体に対するマーケティングやプロモーションに関する勉強会実施、施策検討支援 ・各種事業の周知や参加促進に係る効果的な発信手法に関する助言 	<ul style="list-style-type: none"> ・名刺デザインデータをホームページで広く公開し、職員のみならず、一般市民も利用可能とすることで、館山の魅力発信に繋げることができた。 ・SNSを活用することで、経費をかけずに館山市の情報を多くの人に発信することができた。 ・参与のアドバイスにより、各取組におけるコンセプト・ターゲットを明確にし、より効果的な情報発信が図られた。 	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		91
121	農産物のブランド化推進等による農業経営安定化支援事業	農水産課	5,229	72	2,785	1,627	116,952	126,665	<ul style="list-style-type: none"> ・園芸生産施設の整備による生産性の向上を図った。 ・特産品である房州枇杷の皇室献上活動の継続について支援を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園芸作物の生産性の向上が図られた。 ・地域ブランドの知名度の向上が図られた。 	3 目標をやや下回る	8 他事業に統合	(No.155) 「食のまちづくり」の推進による地域産業の活性化	94
122	農水産物の6次産業化の推進	農水産課	0	0	0	0	4,500	4,500	<ul style="list-style-type: none"> ・農業者による経営の多角化を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業者の所得向上に向けた推進が図られた。 	3 目標をやや下回る	2 継続(現状維持)		94

第4次館山市総合計画「前期基本計画」政策評価シート 総括

資料2-3

事業No.	計画事業名	担当課 (R3回答課)	【参考】前期基本計画の事業費 決算(見込み)額(千円)						H28~R2の事業実施状況	事業の効果及び課題(総括)	達成度	方向性	統合先の 計画事業	計画書 ページ No.
			H28	H29	H30	R1	R2	計						
			123	地産地消の推進	食のまちづくり推進課	108	131	163						
124	船形漁港周辺の活性化	農水産課	0	0	0	0	0	0	・船形ふれあい産地協議会を毎年1回開催し、活性化について検討したが、令和元年度・令和2年度については、台風災害及び新型コロナウイルスの影響により開催できなかった。 ・館山漁協の老朽化した荷捌き施設の改修事業の協議が進捗した。	・活性化に向けた地元の機運には至らなかったが、荷捌き施設の改修計画で、新たな活性化に向けた展開が図られた。	3 目標をやや下回る	2 継続(現状維持)		94
125	新たな農業の担い手の育成・確保	農水産課	4,500	4,500	4,500	1,500	0	15,000	・農業次世代人材投資資金制度の活用により青年の就農意欲喚起及び就農後の定着を図るため、経営が不安定な就農直後の若手農業者に対し支援を行った。	・安定的で継続性のある新たな農業の担い手が確保され、地域の農業生産力の維持向上が図られた。	3 目標をやや下回る	2 継続(現状維持)		95
126	農業の担い手育成・確保と組織的な営農スタイルへの後押し	農水産課	374	399	194	36	0	1,003	・集落ぐるみによる担い手の育成・確保に向けた人・農地プランの作成を推進した。	・農業の持続的な発展と農地の保全のため、地域農業の担い手となる農業者の育成が図られた。	3 目標をやや下回る	2 継続(現状維持)		95
127	地域農業活動支援事業	農水産課	39,740	36,355	35,722	39,910	37,117	188,844	・多面的機能支払制度や各施設の補修用材料の交付など地域の共同活動の支援を行った。	・農地や水路、農道等の地域資源の維持管理が図られた。	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		95
128	水産振興支援事業	農水産課	426	426	426	402	402	2,082	・漁業後継者の育成や栽培漁業の実践、水難事故の救済を行い、漁業就業者の高齢化に対する作業軽減が図れるよう水産業関連団体へ負担金や補助金を交付し支援した。	・団体の事業の効率化や活動を通して、水産業の振興を図った。	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		95
129	環境と調和した農業の推進	農水産課	1,191	951	1,006	986	1,047	5,181	・園芸用廃プラスチック類の回収を年4回実施し、合計25.76t(令和2年度)の農業用使用済みハウス被覆材等を処理した。	・野焼き等の不適切な処分を防止し、資源の再利用、再生利用の促進による循環型社会形成の推進が図られた。	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		95
130	畜産振興支援事業	農水産課	77,275	1,050	667	566	579,851	659,409	・経営規模の拡大、収益性の向上、労働環境の改善、自給飼料生産拡大等を図るため、畜産競争力強化対策整備事業を活用し、牛舎等の施設整備の支援を行った。	・牛舎等の施設整備により経営規模が拡大し、弱体化する酪農・畜産の経営強化並びに地域農業の活性化が図られた。	1 目標を上回る	2 継続(現状維持)		95
131	有害鳥獣対策事業	農水産課	18,529	23,629	32,702	28,643	50,741	154,244	・館山有害鳥獣対策協議会への委託事業等において、捕獲報奨金の支給、わな猟免許の補助及び防護柵の設置補助等による有害鳥獣の捕獲及び被害防止対策を実施した。	・わな猟免許の取得者が増え、有害獣の捕獲力の向上が図られたほか地域ぐるみの活動を実施する地区が増加した。	1 目標を上回る	2 継続(現状維持)		95

第4次館山市総合計画「前期基本計画」政策評価シート 総括

資料2-3

事業No.	計画事業名	担当課 (R3回答課)	【参考】前期基本計画の事業費 決算(見込み)額(千円)						H28～R2の事業実施状況	事業の効果及び課題(総括)	達成度	方向性	統合先の 計画事業	計画書 ページ No.
			H28	H29	H30	R1	R2	計						
			132	農業生産基盤の整備	農水産課	1,849	2,386	2,108						
133	農地の保全と有効活用	農水産課	2,265	3,294	1,993	1,788	2,132	11,472	・農地中間管理機構を活用した担い手への農地集積・集約化を図った。	・耕作放棄地を防止・解消し、意欲ある農業経営者への優良農地の集積・集約化を促進することで、生産者の所得向上や農村環境の維持保全が図られた。	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		95
134	農業経営安定対策の推進	農水産課	4,136	4,217	4,827	4,489	5,182	22,851	・農業経営の合理化や近代化を図るために借り入れた資金に対し、利子の一部の補助を行った。また、戦略作物の本作化を進めた。	・農業生産施設等の整備拡充を行うとともに、米以外の農業作物の本作化により農業者の所得向上が図られた。	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		95
135	中山間地域の活力維持	農水産課	3,652	3,679	3,848	3,838	4,101	19,118	・農業者等に直接支払交付金を交付し、生産条件が不利な地域において生産活動を実施した。	・生産条件が不利な地域において農業生産活動を行うことで、耕作放棄地の発生を防止し多面的機能の確保を図った。	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		95
136	漁業経営支援事業	農水産課	606	2,803	1,123	8,342	1,225	14,099	・市内5漁業協同組合の合併協議を行い、平成31年1月一部が合併し、3漁業協同組合となった。 ・合併後、3漁業協同組合で下協議を行い、継続して合併協議を推進することを確認した。 ・漁業経営の安定のため共済制度加入者への補助を行った。	・更なる合併に向けた推進が図られた。 ・組合経営の安定や従事者の雇用安定が図られた。	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		96
137	栽培漁業支援事業	農水産課	3,000	3,000	2,805	2,091	1,136	12,032	・市内の漁業協同組合が行う「あわび種苗放流事業」「さざえ種苗放流事業」に対し補助金を交付し支援した。	・継続的な実施により、資源の枯渇防止が図られた。	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		96
138	漁港利活用事業	農水産課	5,530	15,247	6,869	6,087	8,345	42,078	・市営漁港については、必要な維持工事を実施し、県営漁港については、工事負担金を支出し、維持管理に努めた。	・漁業に支障が出ないよう最低限の漁港機能の維持が図られた。	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		96
139	地域商業活性化支援事業(中心市街地の活性化)	雇用商工課	3,992	0	0	0	77,890	81,882	・令和元年度商店会連合会主催のキャッシュレスに関する講演会を開催した。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、落ち込んだ市内経済の回復を図るため、9月と3月にキャッシュレス決済(PayPay)ポイント還元事業を行った。 ・消費者向け及び事業者向けのキャッシュレスセミナーを計4回行った。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、売上が減少している市内飲食店を支援するため、クラウドファンディングを活用し、飲食券等を発行する事業を行った。 ・前澤友作館山応援基金を活用し、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい経営状況にある中小企業を支援するため、家賃助成を行った。	・キャッシュレスを推進することにより、多様な決済手段の確保し、マイナポイント等実施が見込まれるポイント還元事業やインバウンドへの対応ができる商店街を目指す。魅力ある商店街を継承し発展させるため、事業承継や起業支援を推進する。 ・キャッシュレス決済(PayPay)ポイント還元事業を行った結果、館山市内のPayPay加盟店が、約500店舗から約700店舗に増加した。 ・クラウドファンディングには、支援者数延べ711人、8,480,500円の支援金が集まった。	2 おおむね目標どおり	1 継続(拡充)		98

第4次館山市総合計画「前期基本計画」政策評価シート 総括

資料2-3

事業No.	計画事業名	担当課 (R3回答課)	【参考】前期基本計画の事業費 決算(見込み)額(千円)						H28~R2の事業実施状況	事業の効果及び課題(総括)	達成度	方向性	統合先の 計画事業	計画書 ページ No.
			H28	H29	H30	R1	R2	計						
			140	中小企業融資事業	雇用商工課	90,799	86,032	73,465						
141	伝統的工芸品活性化事業	雇用商工課	150	150	150	150	150	750	・房州うちわ振興協議会補助金として、活動を支援した。 ・房州うちわ振興協議会にて、平成25年度より後継者育成事業を実施。また、うちわ作り体験を通じて、教育事業への取組を行った。	・房州うちわの新商品の開発や普及啓発を行い、房州うちわが周知された。 ・後継者育成事業の「房州うちわ従事者入門講座」の卒業生が、自身の工房を持つようになった。また、卒業生が毎週若潮ホールに集まり、技術の研鑽、情報の共有を図っている。	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		98
142	商工関係団体支援事業	雇用商工課	9,028	9,362	8,848	9,029	69,224	105,491	・館山商工会議所、館山商店会連合会、館山たばこ組合に対して、運営費補助を実施した。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、落ち込んだ市内経済の回復を図るため、商店会連合会が実施する商店街スタンプラリー事業の補助を行った。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、落ち込んだ市内経済の回復を図るため、商業協同組合が実施するプレミアム商品券事業(たてやま元気商品券)の補助を行った。	・市内商工業者、中小規模事業者の健全な経営体質の確保に繋がった。 ・商店街スタンプラリー事業により、商店街にある個店を住民に周知する機会となり、販路拡大及び売上増加に繋がった。 ・総額3億6000万円(30,000セット:1枚1000円券を12枚で1セット)の商品券が、発売日にほぼ完売した。	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		98
143	半島振興法による諸制度の利活用の検討	企画課	20	20	23	23	20	106	・半島振興法に基づく税政優遇に関する手続きを通じて、民間事業者の設備投資の促進を図った。 ・半島振興地域の会議等において、国・県及び周辺市町との積極的な情報収集・意見交換を行った。	・民間事業者の新規設備投資による地域経済の活性化と雇用の維持を図ることができた。 ・県会議等を通じて、地域の課題の洗い出しができた。 ・過去5年の産業の推移を把握し、令和2年度に更新した産業振興促進計画に課題を反映させた。	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		98
144	新たな雇用の創出	雇用商工課	0	0	0	0	0	0	・金融機関、商工会議所との情報交換会を開催し、多様な雇用創出のための意見交換を行った。	・現状の課題や市の取組を共有し、今後の連携について確認することができた。 ・高校卒業後、大学等への進学や就職により市外に転出している若者が多い。 ・若者の就業ニーズに合った多様な職種選択等に対応できる雇用対策を推進し、魅力ある安定した雇用の場を創出していく必要がある。 ・テレワークなど、場所や時間を選ばない柔軟な働き方が注目を集めており、企業合宿やサテライトオフィスの誘致、コワーキングスペースの創出など、多様な雇用環境の創出に努めていく必要がある。	3 目標をやや下回る	2 継続(現状維持)		100
145	企業誘致推進事業	雇用商工課	11,186	16,354	481	1,082	3,470	32,573	・条例に基づき、企業立地奨励金を計16件交付した。 ・IT系企業を中心に企業訪問を延べ124件行い、企業誘致先としてのPRを実施した。 ・令和元年度及び令和2年度において、一般社団法人Liviig Anywhere(リビングエニウェア)が実施している「Liviig Anywhere Week in 館山」を開催(令和2年度はオンラインによる)した。	・企業立地奨励金の交付により、市内経済の活性化及び雇用の場の確保を図った。 ・企業訪問による誘致の実現には至っていないが、ファミリー向けキャンプ場など、当市への企業進出が見られている。 ・当市への進出に興味を示す企業に対し、画一的な誘致活動ではなく、対象企業にコミットした誘致活動を展開していく必要がある。 ・「Liviig Anywhere Week in 館山」の開催により、IT企業等の企業合宿の誘致、テレワークの促進を図った。	4 目標をかなり下回る	2 継続(現状維持)		100
146	創業促進支援事業	雇用商工課	1,822	1,987	1,994	1,480	2,802	10,085	・産業の振興を図るため、起業する個人・法人に対し、その経費の一部を補助した。 ・起業した人、起業を考えている人向けに、創業支援セミナーを開催した。	・創業支援セミナーに参加した人が、実際に起業し、起業の後押しとなっている。	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		100

第4次館山市総合計画「前期基本計画」政策評価シート 総括

資料2-3

事業No.	計画事業名	担当課 (R3回答課)	【参考】前期基本計画の事業費 決算(見込み)額(千円)						H28～R2の事業実施状況	事業の効果及び課題(総括)	達成度	方向性	統合先の 計画事業	計画書 ページ No.
			H28	H29	H30	R1	R2	計						
			147	地域のニーズをとらえた就業支援強化	雇用商工課	17	314	290						
148	介護・福祉人材の確保に向けた支援	高齢者福祉課	1,048	1,284	829	1,251	536	4,948	・介護職員初任者研修(22人)及び実務者研修(76人)の受講に要した費用の一部(2分の1)を助成した。	・介護職員実務者研修に対する助成を追加し、介護職員の質の向上と市内施設への就労が図られた。 ・R2はコロナの影響で研修が中止・延期等となった。事業としても、現事業者・従業者の維持に注力せざるを得なかった。	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		100
149	移住・定住促進事業	雇用商工課	6,300	4,749	4,788	4,803	4,618	25,258	・移住希望者への相談業務など、NPO法人おせっ会との連携による移住支援を行った。 ・首都圏で移住相談会を行い、館山市のPRと館山での暮らしに関する情報提供、移住相談を行った。	・NPO法人おせっ会を通して、5年間で延べ1751件の移住相談があり、110世帯240名の移住がなされた。 ・空き家バンクの登録後すぐに成約となるケースが増えており、空き家バンクの登録物件数をいかに増加させられるかが課題となっている。	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		102
150	サテライトキャンパス誘致事業	企画課	0	0	0	0	0	0	・市内に研究施設やセミナーハウスを持つ大学等と連携した教室を開催した。 ・千葉大学COC+事業に参加し、歴史的造形資源のデータ化や活用を推進した。 ・千葉工業大学との包括連携協定を締結した。	・大学の都心回帰が進む中、地方へのサテライトキャンパス誘致は難しい状況であるが、市内に施設等を有する大学等と連携し、地域の人材養成、生涯学習(学び)の場の提供、世代間や地域との交流、産官学の連携等を推進する。	3 目標をやや下回る	2 継続(現状維持)		102
151	市内高校ブランド化支援事業	企画課	0	0	0	0	0	0	・各高校と密に連携し、新たな活路を見出すため、市内高校の校長、ハローワーク、県や千葉大学との意見交換会を実施した。 ・『後期基本計画』策定にあたり、高校生から意見募集を行った。	・高校の現状などを皆で共有し、今後の方向性を考えることができた。 ・地元高校への進学者が減少傾向にあるが、その状況を打開することはできていない。	3 目標をやや下回る	1 継続(拡充)		102
152	同窓会支援事業	企画課	0	0	0	0	0	0	・他市町村の取組事例に関する情報収集に努めた。	・具体的な事業構築の段階にまで至っていない。 ・他市町村の取組事例では、若者のUターン、定住促進等を目的に開催している自治体が数多くある。一方で、同窓会支援が直接移住に結びつかなかったため、移住施策としては不適合と考える自治体もある。	4 目標をかなり下回る	8 他事業に統合	(No.153) 出会い・婚活支援事業	102
153	出会い・婚活支援事業	企画課	1,135	918	1,651	278	283	4,265	・NPO法人おせっ会による「安房コン」(市後援)の開催 ・NPO法人地域活性化支援センターの認定を受けた「恋人の聖地/鏡ヶ浦から富士の見えるまち 館山」にかかる周知・PR(ガイドブックの作成等)や事業者説明会・情報交換会の開催、地域間連携の取組(他の自治体で開催する「恋華めぐり」への館山の花の提供) ・「恋人の聖地」を活用した婚活クルーズ(東京湾フェリー)、婚活ツアー(高速ジェット船)の開催 ・館山市「恋人の聖地」活用支援事業補助金の創設	・「安房コン」では、参加者も多く(H28:160名・H29:約190名・H30:158名・R1・R2:中止)、独身男女の出会いの場の創出に繋がっている。 ・「恋人の聖地」事業では、館山ロータリークラブによるカップルベンチの寄贈、「恋人の聖地」WORLDパスポート優待特典店舗への市内事業者の参加、立教大学広告研究会との連携に加え、アロハガーデンたてやまが「恋人の聖地サテライト」に認定(H30.1)されるなど、既存観光資源の磨き上げ、効果的な情報発信、官民連携の展開等が図られた。 ・また、これまでの市の取組が評価され、「第1回恋人の聖地 地域活性化大賞」(R1.6.11開催)において、最高賞である「地方創生担当大臣賞」を受賞し、対外的なPRにも繋げることができた。	1 目標を上回る	2 継続(現状維持)		102

第4次館山市総合計画「前期基本計画」政策評価シート 総括

資料2-3

事業No.	計画事業名	担当課 (R3回答課)	【参考】前期基本計画の事業費 決算(見込み)額(千円)						H28~R2の事業実施状況	事業の効果及び課題(総括)	達成度	方向性	統合先の 計画事業	計画書 ページ No.
			H28	H29	H30	R1	R2	計						
			154	交流拠点「渚の駅」たてやま機能強化事業	観光みなと課	5,391	83,853	92,276						
155	「食のまちづくり」の推進による地域産業の活性化	食のまちづくり推進課	4,494	4,936	4,612	6,885	1,858	22,785	<ul style="list-style-type: none"> 地元産農水産物の魅力を向上させるため、プロトタイプとして館山産いちじくのPR方法や加工品の商品化を検討するワークショップを開催した。 地元産農水産物の周知及び購入を促すため、「館山まるしえ」を年数回開催した。※R2年度はコロナの影響で実施なし。 地元産農水産物を周知するため、地域おこし協力隊1名を委嘱し、隊員は生産者や事業者を取材してSNS等で発信したり、地元産農産物を都内で販売したりした。 館山市稲の市有地に給水管を設置した。 R5年度の開業を目的に、R3.2.1~公募プロボ(DBO方式)にて事業者の募集を開始した。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークショップの開催により、いちじく加工品の試作を行うことができた。 出店者の約2割が地元産農産物の生産者であり効果がみられる。 地元産農産物の都内販売は完売しており効果がみられる。既に房総に興味を持つ人が集まるイベントで行うことで、購入につながっていると考えられる。 食のまちづくり拠点施設の整備であり、今後効果が期待できる。 	3 目標をやや下回る	2 継続(現状維持)		104
156	住環境向上のための支援	雇用商工課 建築施設課 こども課	1,904	895	1,305	1,160	1,373	4,104	<ul style="list-style-type: none"> H28年度においては、定住するために自己が所有する住宅についてリフォーム工事を行う者を対象にリフォーム代の助成を行った。 H29年度以降は、過去1年以内に館山へ移住してきた子育て世帯の移住者に対し、家賃の補助(移住定住促進助成金の交付)をした。 	<ul style="list-style-type: none"> H28年度は4件の補助を行い、定住者が所有する住宅のリフォームにおける費用負担の軽減を行った。 H29年度以降は合計23件の補助を行い、子育て世帯の移住者に対して費用負担を軽減し、移住定住の促進を図った。 	2 おおむね目標どおり	8 他事業に統合	(No.149) 移住・定住促進事業	108
157	建築物の耐震化の促進	建築施設課	0	118	203	0	0	321	<ul style="list-style-type: none"> 建築士事務所協会と協力し、耐震診断の必要性について広報活動するも、建物所有者自らが行う耐震化に対して具体的な進捗が見られなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 耐震診断の無料相談にはつながるものの、助成制度の対象外の物件であることや、耐震診断後の耐震改修に対する助成制度が無いことなどを理由に、助成制度の申請には至らない場合が多い。 	4 目標をかなり下回る	2 継続(現状維持)		108
158	空き家対策	建築施設課	10,946	1,761	1,800	1,869	7,174	23,550	<ul style="list-style-type: none"> 市内全域の空き家実態調査を完了。 空き家管理システムの導入。 実態調査に基づく特定空家等への指導の実施。 R2年度 特定空家除去工事(略式代執行)を1件完了。 	<ul style="list-style-type: none"> 空き家の実態調査や所有者に対する指導等を行ったことにより、今まで管理が不十分であった空き家の所有者が自発的に管理を始めるなど、一定の効果が見られた。 R1年度に関しては台風の被災者支援を優先したため事業の大半は進捗していない。 略式代執行を1件行うなど、一定の進捗が見られたが、事業の大半では進捗していない。 	3 目標をやや下回る	2 継続(現状維持)		108

第4次館山市総合計画「前期基本計画」政策評価シート 総括

資料2-3

事業No.	計画事業名	担当課 (R3回答課)	【参考】前期基本計画の事業費 決算(見込み)額(千円)						H28~R2の事業実施状況	事業の効果及び課題(総括)	達成度	方向性	統合先の 計画事業	計画書 ページ No.
			H28	H29	H30	R1	R2	計						
			159	市営住宅の適切な管理	建築施設課	27,154	27,734	0						
160	館山駅東口駅前広場の整備	都市計画課	0	0	0	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・駅前広場の活用について、関係課により庁内検討会を開催した。 ・公共交通事業者とのヒアリングを実施し、現状の課題の把握を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な進捗が図れなかった。 ・一般車の駐車スペースが設定され、広場内の駐車禁止規制などが行われた。 	4 目標をかなり下回る	1 継続(拡充)		108
161	都市公園の整備	都市計画課	0	2,737	0	0	0	2,737	<ul style="list-style-type: none"> ・前期基本計画において、当初掲げた長寿命化計画の策定には至っていない。 ・日常点検等を含めた維持管理を継続的に実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度は指定管理者の業務において維持管理を実施しており、定期点検も専門業者による遊具点検を実施したが、点検において危険箇所が判明したため一部使用を禁止した。 今後、遊具の整備計画を作成し、応急的な修繕を行いながら遊具のリニューアルを含め整備を検討していく。 	3 目標をやや下回る	1 継続(拡充)		110
162	花のまちづくりの推進	都市計画課	350	1,200	3,093	1,407	1,000	7,050	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年ガーデニングコンテストやガーデニング教室を実施した。 ・庁舎敷地、R127花壇、R128花壇への植栽を実施した。令和2年度の庁舎植栽は、館山ロータリークラブからの寄付により行われた。 ・学校施設に花苗配布を春・秋2回行った。 ・平成30年度には、華道家の假屋崎省吾氏を招いて館山市制80周年記念事業“恋華めぐり”を開催し、大盛況であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・花の植栽や各種イベント等の開催により「花のまちづくり」の機運醸成に繋がった。 ・外部団体との連携事業も増え、更なる展開が期待される。 ・事業を更に推進するため、庁内関係各課と民間団体で構成する「(仮称)花のまちづくり推進協議会」の設立を目指す。 	2 おおむね目標どおり	1 継続(拡充)		110
163	国道・県道の整備促進	建設課	50	45	45	40	10	190	<ul style="list-style-type: none"> ・県道の整備については、関連する促進協議会等を通じて要望活動を行った。また、整備に伴い、地元区長等と調整を図り、事業推進に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県道に関しては整備促進協議会により、県への要望活動を実施しており事業の推進が図られている。 	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		113
		都市計画課	30	30	30	30	20	140	<ul style="list-style-type: none"> ・「国道410号並びに関連道路整備促進期成同盟会」が実施する要望活動に参加し、藤原地内の切り割り形状となっている狭隘区間の整備を要望した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・藤原地内の切り割り形状となっている狭隘区間について、路肩部分の改良工事が行われた。 ・歩道未整備区間について、順次整備が進められている。 				
164	東関東自動車道館山線等の整備促進	都市計画課	142	142	142	142	122	690	<ul style="list-style-type: none"> ・「東関東自動車道館山線建設促進期成同盟会」及び「東関東自動車道館山線・一般国道127号富津館山道路建設促進期成同盟会」が実施する要望活動等に参加し、館山自動車道及び富津館山道路の4車線化整備について要望した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・君津ICから富津竹岡ICまでの区間について、令和元年度末に4車線化による供用が開始となった。 ・富津竹岡ICから富津金谷ICまでの区間について、平成31年3月に「財政投融资を活用して実施する4車線化等候補箇所」として選定され、事業許可がされた。 また、上記区間を含む富浦ICまでの区間について、令和元年9月に4車線化等の優先整備区間に選定された。 	2 おおむね目標どおり	1 継続(拡充)		113
165	地域高規格道路の整備促進	都市計画課	0	0	40	40	40	120	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域高規格道路「館山・鴨川道路」整備促進期成同盟会」として、計画を具体化し整備促進を図るよう、国や県へ要望活動を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・同盟会による国や県への要望活動で、道路整備の必要性を強く示し、早期事業化を求めた。 	3 目標をやや下回る	2 継続(現状維持)		113
166	都市計画道路船形館山線(船形バイパス)の整備	都市計画課	44,895	109,063	195,598	225,507	117,934	692,997	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度については、用地取得を実施し、公社取得分を含めて10,598.35㎡を取得した。(令和2年度末までの取得率72.8%) ・平成30年度から一部区間の工事に着手した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一部区間の工事に着手したが、本事業は道路の供用開始により事業効果を発現するため、現段階では直接的な事業効果は発現していない。現在、課題となっている用地取得について、難航案件の解決を図りながら早期完成を目指している。 	3 目標をやや下回る	1 継続(拡充)		113

第4次館山市総合計画「前期基本計画」政策評価シート 総括

事業No.	計画事業名	担当課 (R3回答課)	【参考】前期基本計画の事業費 決算(見込み)額(千円)						H28～R2の事業実施状況	事業の効果及び課題(総括)	達成度	方向性	統合先の 計画事業	計画書 ページ No.
			H28	H29	H30	R1	R2	計						
			167	都市計画道路青柳大賀線の整備	都市計画課	0	0	0						
168	道路改良事業	建設課	30,861	60,175	47,602	60,762	70,388	269,788	・市道9052号線(二子地内)の用地取得できた区間について、工事を着手した。 ・市道8020号線(腰越地内)の交差点改良工事と市道6035号線(布良地区)及び市道7022号線(山荻地区)の道路改良工事を実施した。	・市道9052号線(二子地内)の用地取得により事業の推進が図られた。(用地取得率95%) ・市道を拡幅し信号機を設置したことや崩落の危険性のあった法面の保護や老朽化した土留擁壁を改築したことにより、円滑な通行と交通の安全が図られた。	3目標をやや下回る	2継続(現状維持)		113
169	汽船場踏切改良事業	建設課	0	0	0	0	0	0	・具体的な進捗が図れなかった。	・具体的な進捗が図れなかった。	4目標をかなり下回る	8他事業に統合	(No.171)歩道整備事業	113
170	道路排水整備事業	建設課	10,534	44,788	48,855	32,182	30,593	166,952	・市内21路線の排水整備工事を実施した。	・側溝の新設及び蓋付き側溝への改修により、溢水、悪臭の解消及び有効幅員が確保され、居住環境が改善された。	3目標をやや下回る	2継続(現状維持)		113
171	歩道整備事業	建設課	33,155	7,965	12,615	0	0	53,735	・市道1016号線(北条地内)の歩道整備工事や市道1008号線(北条地内)の歩行者帯整備工事を実施した。	・狭隘な歩道の拡幅や歩行者帯を整備し車両と歩行者を分離したことにより、歩行者の安全性を確保した。	3目標をやや下回る	2継続(現状維持)		113
172	道路維持補修事業	建設課	47,864	51,762	51,479	65,968	60,640	277,713	・道路維持補修(直営含む)、飛砂防止網設置撤去工事、除草等管理業務委託(直営含む)、法定外公共物資材支給を実施した。	・年々増加する要望数に外注・直営を適切に対応することで、道路施設における最低限の機能管理を図った。	2おおむね目標どおり	2継続(現状維持)		114
173	トンネル長寿命化修繕事業	建設課	5,940	35,543	12,312	34,135	19,817	107,747	・道路トンネルの長寿命化修繕計画に基づき小原1号、山荻2号トンネルの補修工事を実施した。	・トンネルの補修工事の実施により、安全な交通機能の確保及びトンネルの長寿命化が図られた。	2おおむね目標どおり	2継続(現状維持)		114
174	道路法面長寿命化修繕事業	建設課	3,240	0	4,514	19,000	61,410	88,164	・道路法面の長寿命化修繕計画に基づき市道4040号線道路法面の補修工事を実施した。	・修繕計画の策定により、施設の長寿命化を図る効果的な整備及び維持管理費の適正化を図るための維持管理計画を確立できた。 ・道路法面補修工事の実施により、安全な交通機能の確保及び道路法面の長寿命化が図られた。	2おおむね目標どおり	2継続(現状維持)		114
175	道路舗装補修事業	建設課	39,196	24,292	54,738	3,358	13,684	135,268	・幹線市道を中心に市内21路線の損傷の著しい箇所の舗装補修工事を実施した。	・舗装補修工事の実施により、安全で円滑な交通が確保された。	3目標をやや下回る	2継続(現状維持)		114
176	橋梁整備事業	建設課	50,277	8,312	51,170	22,990	47,677	180,426	・橋梁点検を144橋実施し、点検結果を踏まえ長寿命化修繕計画を見直した。 ・橋梁長寿命化修繕計画に基づき、10橋の補修工事を実施した。	・橋梁点検の実施及び橋梁長寿命化修繕計画による計画的な補修工事の実施により、安全な交通機能の確保及び橋梁の長寿命化が図られた。	2おおむね目標どおり	2継続(現状維持)		114

第4次館山市総合計画「前期基本計画」政策評価シート 総括

事業No.	計画事業名	担当課 (R3回答課)	【参考】前期基本計画の事業費 決算(見込み)額(千円)						H28～R2の事業実施状況	事業の効果及び課題(総括)	達成度	方向性	統合先の 計画事業	計画書 ページ No.
			H28	H29	H30	R1	R2	計						
			177	河川整備維持補修事業	建設課	26,296	15,731	2,543						
178	二級河川の整備促進	建設課	13	13	14	11	0	51	<ul style="list-style-type: none"> ・2級河川の整備について促進協議会等を通じて要望活動を行った。 ・整備に伴い、地元区長等の調整を図り、事業推進に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・改修促進協議会により、県への要望活動を実施しており事業の推進が図られている。 	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		114
179	雨水排水路等の整備	都市計画課	0	14,904	0	0	4,378	19,282	<ul style="list-style-type: none"> ・計画に上げられている3排水路の整備は実施していないが、維持補修、修繕工事は適宜実施した。 ・平成29年度に宇田排水路詳細設計業務委託を実施し、船形バイパスの整備にあわせ宇田排水路を整備することを決定した。 ・令和2年度に楠見1号排水路基本設計業務委託を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺地域での冠水被害の解消を図る。 	3 目標をやや下回る	2 継続(現状維持)		114
180	域内公共交通の確保・維持	企画課	13,755	16,031	23,469	25,726	55,310	134,291	<ul style="list-style-type: none"> ・将来にわたり持続可能な公共交通ネットワークを確保・維持するためのマスタープランとなる「館山市地域公共交通網形成計画」を策定した。 ・公共交通利用のメリットなどを市広報に掲載し、利用促進を図った。 ・市内の高校新入生向けに、公共交通利用促進を呼びかけるチラシを配布した。 ・毎年度、地域公共交通会議を開催し、新規事業等に関する審議や課題の共有等を行った。 ・廃止代替バス等補助金による事業者支援を行った。 ・南房総市と合同で公共交通について考える協議会「南房総・館山地域公共交通活性化協議会」を設立し、広域連携により公共交通施策に取り組む素地を整えた。 ・2市合同の「南房総・館山地域公共交通計画」策定に取り組んだ。(計画は令和3年夏頃策定予定) ・バス事業者により、子ども向けイベント「Kidsフェス」(2階建てバス乗車体験や路線バスの展示等、バスに触れ合えるイベント)が開催された。 ・市街地の回遊性向上や新たな需要の掘り起こしを行うべく、令和3年1月～3月の60日間、市街地循環バスの実証運行を実施した。 ・新型コロナ対策を行った公共交通事業者に奨励金を支払った。 ・災害により破損したバス停を修理した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・館山市地域公共交通網形成計画を策定したことで、公共交通をめぐる課題や今後の方向性、重点施策等を明確化することができた。 ・策定した計画に基づき市街地循環バス実証運行を行うなど、課題解決に向けた事業展開を図ることができた。 ・南房総市と合同の取組がスタートしたことで、生活圈全体を捉えた効率的で利便性の高い公共交通ネットワーク形成を推進する土台ができた。 ・運行費補助により、現行のバス路線の維持が図れた。 ・各種調査実施により、市民の意見や事業者の課題等をより定量的に把握することができた。 ・地区住民等との意見交換により、公共交通に対するニーズ等を聞くことができた。 ・バス路線の千倉線においては、白浜千倉線との統合による安房白浜からの直通化と、それに合わせたダイヤ改正が行われ、新たな利用者獲得に向けた取組が実現した。 	2 おおむね目標どおり	8 他事業に統合	※新規事業に統合	116
		企画課							<ul style="list-style-type: none"> ・自転車が積載可能な「サイクルトレイン」の設定について、J R東日本に対して要望した。 ・H30年度に、誰もが安全で快適に通行できる交通環境の実現に向け、自転車通行空間の整備を主な内容とする「館山市自転車ネットワーク計画」を策定した。 ・令和元年度に、「館山市自転車ネットワーク計画」に基づき、太平洋岸自転車道の市道部分において、矢羽根型路面表示により自転車通行空間の整備を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・東京2020オリパラに向けて、統一感のある太平洋岸自転車道の整備のため、市が「館山市自転車ネットワーク計画」を策定することで、国・県・近隣市町と連携のとれた自転車通行空間の整備が可能となった。 				

第4次館山市総合計画「前期基本計画」政策評価シート 総括

資料2-3

事業No.	計画事業名	担当課 (R3回答課)	【参考】前期基本計画の事業費 決算(見込み)額(千円)						H28~R2の事業実施状況	事業の効果及び課題(総括)	達成度	方向性	統合先の 計画事業	計画書 ページ No.
			H28	H29	H30	R1	R2	計						
			181	自転車利用促進事業	観光みなと課	2,035	169	52						
182	高速バスネットワークの整備促進	企画課	72	159	0	0	0	231	<ul style="list-style-type: none"> ・高速バスの課題等も含めた意見交換を市と交通事業者で継続的に開催した。 ・高速バスへのWi-fi設備導入が進められ、全路線・ほぼ全便でWi-fiが利用可能となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・便数や車内環境の充実が図られ、館山駅発着の高速バス利用者は増加傾向にある。しかしながら、令和元年度以降は台風災害や新型コロナウイルスの影響により利用者が大幅に減少しているため、移動手段としての魅力を高め、PRを強化する必要がある。 	2 おおむね目標どおり	8 他事業に統合	※新規事業に統合	116
183	高速道路等通行料金割引制度の拡大	企画課	0	0	0	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・都市部に向けた観光プロモーションにより、アクアラインを使用することで、東京から80分の近さをPRするなど、観光客等のアクアライン利用の促進を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・東京湾アクアライン通行料金は、2013(H25)年度末以降も今後10年間を目安に割引が実施されている。 	2 おおむね目標どおり	8 他事業に統合	※新規事業に統合	116
184	鉄道の維持と利便性の向上	企画課	6	6	6	805	39	862	<ul style="list-style-type: none"> ・広報やHP掲載による利用促進を図った。 ・庁内において、千葉出張時や飲み会参加時には鉄道を含めた公共交通を利用するよう啓発を行った。 ・ダイヤ改正や施設整備など、JR東日本に対する要望活動を実施した。 ・令和元年11月9日に、「館山駅開業100周年フェスタ」を開催し、多くの来場者を集めた。 ・令和元年11月9日から、駅の発車メロディーをX JAPANの「Forever Love」に変更した。 ・令和2年度においては、コロナ禍で落ち込んだ観光需要の底上げを図るべく、鉄道で来訪する観光客向けに2階建てオープントップバスが運行され、魅力ある二次交通の提供を行った。 ・令和3年3月のダイヤ改正において、新型車両が導入され、あわせてワンマン運転が開始された。 	<ul style="list-style-type: none"> ・H30年1月に運行が開始された自転車積載列車「B・B・BASE」により、サイクルツーリズムにおける交流人口の拡大と鉄道の利用促進が図られている。 ・利便性の向上や観光面での取組などについて、要望活動を継続して実施しているものの、利用者減に歯止めがかからず、ほとんどの要望内容は実現できていない状況である。 ・ワンマン運転等の合理化も進められているが、将来にわたり利便性を維持していくためには鉄道利用者の更なる減少を食い止める必要がある。 ・館山駅開業100周年イベントを官民一体で実施し、駅や鉄道に目を向けてもらうきっかけを作ることができた。 ・発車メロディーを館山市にゆかりのあるX JAPANの曲に変更することで、ファンの来訪や市民への周知など、話題づくりを行うことができた。 	3 目標をやや下回る	8 他事業に統合	※新規事業に統合	116
185	森林・里山保全整備事業	農水産課	2,558	1,709	1,263	1,046	1,124	7,700	<ul style="list-style-type: none"> ・松くい虫による被害の蔓延防止のための薬剤防除や伐倒駆除の実施。 ・森林・山村多面的機能発揮対策交付金を活用した森林整備を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・松くい虫による被害の拡大の防止。 ・森林の間伐や下刈り等の森林整備の促進。 	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		120

第4次館山市総合計画「前期基本計画」政策評価シート 総括

資料2-3

事業No.	計画事業名	担当課 (R3回答課)	【参考】前期基本計画の事業費 決算(見込み)額(千円)						H28～R2の事業実施状況	事業の効果及び課題(総括)	達成度	方向性	統合先の 計画事業	計画書 ページ No.
			H28	H29	H30	R1	R2	計						
			186	自然環境保全活動団体支援事業	環境課	568	554	460						
187	自然環境保全対策事業	環境課	6,996	6,728	6,765	5,921	6,398	32,808	・無断埋立、不法投棄の摘発及びその後の改善までの巡回監視	・無断埋立、不法投棄の摘発及びその後の改善までの巡回監視 H28:10件 H29:15件 H30:7件 R1:2件 R2:3件 ・不法投棄等の発見・監視 H28:41件 H29:51件 H30:52件 R1:32件 R2:24件	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		120
188	埋立事業者への指導・監督強化	環境課	0	0	0	0	0	0	・埋立に関する相談対応、埋立と思われる現場での声掛けなど	・無断埋立の可能性のある現場の監視 H28:10件 H29:15件 H30:7件 R1:2件 R2:3件	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		120
189	公害防止対策事業	環境課	12	11	9	9	11	52	・主な苦情通報数 H28:135件 H29:154件 H30:185件 R1:160件 R2:176件	H28:135件、H29:154件、H30:185件、R1:160件、R2:176件について行政指導などの援助を行った。 R2の案件のうち約10%(46件)について「解決」又は「一部解決」に結びついた。	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		120
190	水質・土壌・大気監視事業	環境課	1,148	1,091	1,144	1,285	1,362	6,030	・地下水、浸出水、河川の水質検査を実施。令和元年度現在の実施箇所数は20地点	・一部の地下水で基準値超過をしているが、大きな水質汚染案件がないことを確認。	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		120
191	不法投棄防止対策事業	環境課	0	97	92	229	105	523	・環境等対策参与によるパトロール ・防犯カメラの設置(平成28年度に社会安全課で設置) ・広報紙により「ごみの不法投棄(罰則等)」の防止等に関し周知	・市全域にわたる定期的なパトロールにより、現場における状況把握、情報収集等の迅速かつ機動的な対応が可能となっている。	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		120
192	景観計画の策定	都市計画課	0	6,804	6,364	1,198	0	14,366	・令和元年11月1日に景観計画、景観条例を施行した。	・策定作業は予定どおり進められた。	2 おおむね目標どおり	4 完了		120
193	広域ごみ処理施設の整備促進	環境課	10,891	9,862	0	0	0	20,753	・①館山市のごみ処理広域化事業からの離脱に伴い、平成29年10月、安房広域規約を変更した。(ごみ処理広域化事業からの館山市除外) ・②鴨川市、南房総市及び鋸南町による木更津市、君津市、富津市及び袖ヶ浦市とのごみ処理に関する事業連携に伴い、平成31年1月、安房広域規約を変更した。(2市1町によるごみ処理広域化事業の削除)	・左記①の安房広域規約の変更に伴い、規約変更後からは、ごみ処理広域化推進費は、負担しない。 ・ごみ処理広域化事業からの離脱により、館山市は単独で、ごみ処理の効率化及びごみ処理施設の老朽化に対応し、廃棄物処理事業を推進していく。	2 おおむね目標どおり	6 廃止		122
194	粗大ごみ処理施設運営事業	環境センター	10,955	12,133	10,133	12,621	13,030	58,872	・綿密な日常点検、適正な運転管理を実施し、確実な廃棄物処理を行った。	・機器トラブルによる搬入停止がなかった。	2 おおむね目標どおり	1 継続(拡充)		122

第4次館山市総合計画「前期基本計画」政策評価シート 総括

資料2-3

事業No.	計画事業名	担当課 (R3回答課)	【参考】前期基本計画の事業費 決算(見込み)額(千円)						H28～R2の事業実施状況	事業の効果及び課題(総括)	達成度	方向性	統合先の 計画事業	計画書 ページ No.
			H28	H29	H30	R1	R2	計						
			195	最終処分場運営事業	環境センター	6,323	10,299	5,771						
196	清掃センター運営事業	環境センター	335,856	348,796	368,204	378,119	415,916	1,846,891	・綿密な日常点検、適正な運転管理を実施し、確実な廃棄物処理を行った。	・機器トラブルによる搬入停止がなかった。	2 おおむね目標どおり	1 継続(拡充)		122
197	衛生センター運営事業	環境センター	69,194	69,406	77,598	78,022	103,625	397,845	・綿密な日常点検、適正な運転管理を実施し、確実な廃棄物処理を行った。	・機器トラブルによる搬入停止がなかった。	2 おおむね目標どおり	1 継続(拡充)		122
198	県内水道の統合・広域化の推進	環境課	0	0	0	0	0	0	・南房総地域での「南房総地域末端給水事業統合研究会」及び作業部会を設立し、平成27～28年度にかけて行った「南房総地域の水道広域化に係る基礎調査」を基に、平成29年度に「南房総地域広域化基本構想」を策定した。 ・平成30年度に覚書を作成した。 ・研究会：13回、作業部会：13回実施 ・令和7年度からの事業統合を目指し、統合協議会準備会議及び市町村等調整会議を実施し協議を重ねている。	・広域化に向けた基本方針や目標設定を行う「南房総地域広域化基本構想」を策定し、構成団体で同意した。	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		122
199	合併浄化槽普及事業	下水道課	1,530	1,360	2,040	1,000	1,600	7,530	・単独処理浄化槽を撤去して合併処理浄化槽を設置する者、またはくみ取り便槽を撤去して合併処理浄化槽を設置する者に、20万円を補助	・H28年度：9基設置 ・H29年度：8基設置 ・H30年度：12基設置 ・R1年度：5基設置 ・R2年度：8基設置 累計：42基の設置	3 目標をやや下回る	2 継続(現状維持)		123
200	公共下水道館山処理区第2期整備事業	下水道課	80,954	111,093	72,611	48,809	16,456	329,923	・汚水幹線及び枝線管渠の整備 ・事業計画期間延伸及び区域拡大	(H28-R2) ・整備面積：6.6ha ・汚水幹線：100m ・汚水枝線：1,932m	2 おおむね目標どおり	8 他事業に統合	(No.201) 公共下水道への接続率向上	123
201	公共下水道への接続率向上	下水道課	480	500	390	385	340	2,095	・下水道接続依頼の戸別訪問 ・水洗便所改造資金補助	公共下水道接続率 ・81.8% (4,498人/供用人口5,500人(R3.3.31現在)) 水洗便所改造資金補助実績 ・H28：18件・H29：19件・H30：11件・R1：12件・R2：9件	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		123
202	公共下水道終末処理場維持管理事業	下水道課	129,909	204,222	133,910	140,573	151,708	760,322	・処理場の維持管理 ・設備のオーバーホール ・機械や備品の修繕 ・防災設備等の保守点検 ・水質検査 ・汚泥の処分 ・長寿命化対策工事 ・ストックマネジメント計画策定及び実施設計	・適正な水質管理	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		123
203	下水道事業特別会計への繰出事務	下水道課	436,183	435,133	444,363	468,125	457,908	2,241,712	・下水道事業特別会計(令和2年度から下水道事業会計へ移行)の運営を維持するための一般会計からの繰出	・一般会計からの繰出しにより下水道事業特別会計の健全化が図られた。	2 おおむね目標どおり	8 他事業に統合	(No.201) 公共下水道への接続率向上	123

第4次館山市総合計画「前期基本計画」政策評価シート 総括

資料2-3

事業No.	計画事業名	担当課 (R3回答課)	【参考】前期基本計画の事業費 決算(見込み)額(千円)						H28～R2の事業実施状況	事業の効果及び課題(総括)	達成度	方向性	統合先の 計画事業	計画書 ページ No.
			H28	H29	H30	R1	R2	計						
			204	ごみ減量化・再資源化事業	環境課	0	50	0						
205	環境美化推進事業	環境課	23	25	19	18	0	85	<ul style="list-style-type: none"> ・環境美化に関するポスターの募集及び展示等を行った。 ・春、秋のごみゼロ週間による市内の清掃活動等を実施した。 ・R2年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止や、それに伴う小学校の日程カリキュラム変更のため、上記の実施を見送った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境美化ポスター募集と展示等により、環境教育につながった。 ・市民、民間事業者、各種団体等による清掃活動のほか、個人による自主的な取組も行われ、他のボランティア活動とあわせ、地域の環境美化につながった。 ・令和元年度に生じた新型コロナウイルスの状況に応じ、事業の実施を判断する必要がある。 	2おおむね目標どおり	2継続(現状維持)		125
206	地球温暖化対策事業	環境課	3,252	1,841	2,060	2,544	3,270	12,967	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅用省エネルギー設備：5種への補助金の交付を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金の実績 H28 件数：49件 補助額：3,252千円 H29 件数：19件 補助額：1,841千円 H30 件数：19件 補助額：2,060千円 R1 件数：21件 補助額：2,544千円 R2 件数：33件 補助額：3,270千円 千葉県要綱改正によりH29年度から新築住宅への太陽光発電設備の設置が補助対象外となったため、交付件数が減少している。 	2おおむね目標どおり	2継続(現状維持)		125
207	地域防災力強化事業	危機管理課	5,633	5,454	2,428	129	174	13,818	<ul style="list-style-type: none"> ・合同防災訓練 ・各地区訓練講座 ・シェイクアウト ・防災士養成講座受講補助 	<ul style="list-style-type: none"> ・住民の防災意識の向上(自助)と災害時に地域防災活動の中心となる自主防災組織(共助・近助)の機能強化、さらには自助・共助・公助の連携を図ることができた。 	2おおむね目標どおり	2継続(現状維持)		130
208	災害対応力強化事業	危機管理課	2,992	2,773	1,409	11,714	27,533	46,421	<ul style="list-style-type: none"> ・備蓄食料等の購入 ・非常用発電機燃料の備蓄 ・各種災害協定の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ・地震、津波、土砂災害などの自然災害に備えた災害対応力を強化 ・備蓄食糧や各種資機材等の備えを計画的に進めた。 	2おおむね目標どおり	2継続(現状維持)		130
		総務課	0	0	0	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・非常時に、災害対応業務を行いながら、業務の優先度により市民サービスの提供を行うことを目的に、平成25年3月に「業務継続計画」を策定。 ・令和元年房総半島台風などの災害事例等を踏まえた、より実効性の高い、具体的な行動計画として見直しが必要であり、必要な情報整理に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年房総半島台風等を踏まえた情報整理の段階であり、具体的な行動計画の策定には至っていない。 	3目標をやや下回る			
209	災害情報伝達手段の整備	危機管理課	21,930	51,449	49,410	11,326	54,972	189,087	<ul style="list-style-type: none"> ・防災行政無線や安全安心メール、あんしん電話の普及促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害発生時の被害を最小限に抑えるため、迅速かつ的確な情報伝達手段の確保が図られた。 ・災害情報の確実な伝達を確認した。 	2おおむね目標どおり	2継続(現状維持)		130

第4次館山市総合計画「前期基本計画」政策評価シート 総括

資料2-3

事業No.	計画事業名	担当課 (R3回答課)	【参考】前期基本計画の事業費 決算(見込み)額(千円)						H28～R2の事業実施状況	事業の効果及び課題(総括)	達成度	方向性	統合先の 計画事業	計画書 ページ No.
			H28	H29	H30	R1	R2	計						
			210	津波防災まちづくり事業	危機管理課 建設課 観光みなと課	0	0	0						
211	消防団拠点施設の整備	危機管理課	20,601	6,043	22,495	0	22,919	72,058	<H28年度> ・第4分団第10部詰所の建替え <H29年度> ・第1分団第2部詰所建築工事設計業務委託 ・第3分団第7部旧詰所解体撤去 ・第8分団第20部旧詰所解体撤去 <H30年度> ・第1分団第2部詰所の建築 <R元年度> ・予定していた津波浸水想定区域内にある第7分団第14部詰所の新築移転について、移転候補地の一部地権者の同意が得られなかったため、事業先送りとした。 <R2年度> ・第8分団第19部詰所の建築	・災害時の拠点施設として耐震性を高めるなど、市民の一時避難場所としても使えるよう考慮した。 ・団員の意見を取り入れ、効率的な団活動と団員の居住環境の向上を図った。 ・新詰所については、団員の意見を取り入れ、効率的な団活動と団員の居住環境の向上を図った。また、耐震性を高めるとともに周辺公共施設イベント時にトイレを開放できる構造とした。さらに、災害時の活動拠点施設と地域住民の一時避難所として使用できるよう電時に発電機を接続できる機能を設けた。 ・旧詰所については、活用されないまま老朽化進行していたため、解体した。 ・津波浸水想定区域内にあった詰所を高台移転し、災害時の活動拠点施設としての安全性及び団員の安全性を確保した。	3 目標をやや下回る	2 継続(現状維持)		132
212	消防ポンプ自動車整備事業	危機管理課	18,360	0	16,524	22,465	20,949	78,298	<H28年度> ・消防ポンプ自動車(第7分団第16部)の更新 <H29年度> ・車両の購入なし <H30年度> ・小型動力ポンプ積載車2台を購入(軽自動車:第7分団第18部、普通車:第9分団第25部) <R元年度> ・消防ポンプ自動車(第4分団第9部)の更新 <R2年度> ・消防ポンプ自動車(第1分団第3部)の更新	<H28年度> ・各種最新装備により、迅速な消火活動と運転の安全性が向上した。 <H30年度> ・老朽化の著しい消防ポンプ車2台を可搬ポンプ積載車に更新、内1台は軽自動車ベースとし、2台合わせた購入費は従来の1台分より安価とした。ポンプメンテナンスが容易なほか、小型の車体により狭小地域での効果的な団活動が期待できる。 <R元年度> ・各種最新装備により、迅速な消火活動と運転の安全性が向上した。 <R2年度> ・各種最新装備により、迅速な消火活動と運転の安全性が向上した。車両総重量3.5t未満とすることで平成29年3月12日以降の普通免許(3.5t未満)所有団員でも運転可能な消防車とした。	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		132
213	消防水利の整備	危機管理課	24,462	18,865	17,094	0	0	60,421	<H28年度> ・防火水槽新設1基(竹原地区、繰越事業)・蓋掛3基(下真倉・大神宮・国分、繰越事業) <H29年度> ・防火水槽新設2基(古茂口地区、山本地区) <H30年度> ・防火水槽新設1基(沼地区)・蓋掛1基(那古) <R元・2年度> ・予定していた事業は取り止め。	・防火水槽の新設は、消防水利が乏しい地区での円滑な消火活動に繋がる。 ・新設と蓋掛ともに耐震化を行ったため、大規模地震時の有効な消防水利として期待できる。 ・R元年度に予定していた防火水槽新設1基(正木)と蓋掛1基(大戸)は、9月の台風災害により事業を取り止めた。	3 目標をやや下回る	2 継続(現状維持)		132

第4次館山市総合計画「前期基本計画」政策評価シート 総括

資料2-3

事業No.	計画事業名	担当課 (R3回答課)	【参考】前期基本計画の事業費 決算(見込み)額(千円)						H28～R2の事業実施状況	事業の効果及び課題(総括)	達成度	方向性	統合先の 計画事業	計画書 ページ No.
			H28	H29	H30	R1	R2	計						
			214	消防団員の確保と待遇改善	危機管理課	0	0	0						
215	消防団員の育成及び市民の防火意識の高揚	危機管理課	33,118	34,092	34,800	41,237	29,624	172,871	<ul style="list-style-type: none"> ・団員の消防学校での訓練 ・活動服等の被服貸与 ・安全装備品の個人配備(手袋・雨合羽・防火靴) ・耐火性防火服の配備 ・火災予防運動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・消防団員に必要な処遇を行うとともに、団活動に必要な知識や技術を習得させることで、意識の高い効果的な団活動の強化を図った。 	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		132
216	消防・救急体制の充実	危機管理課	826,944	813,547	871,006	884,133	889,438	4,285,068	<ul style="list-style-type: none"> ・安房郡市広域市町村圏事務組合に対する常備消防費を負担 	<ul style="list-style-type: none"> ・常備消防業務や救急業務の充実強化が図られている。 	3 目標をやや下回る	2 継続(現状維持)		132
217	交通安全対策の推進	市民協働課	16,568	24,081	17,151	13,326	18,454	89,580	<ul style="list-style-type: none"> ・道路標識等の道路附属物の点検を実施し、修繕計画に基づき修繕を実施 ・町内会等からの要望により、交通事故防止のためカーブミラーやガードレール等を設置・修繕 ・交通指導員による通学路の見守り活動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業実施により、交通事故危険個所の除去を図った。 	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		134
218	自転車駐車場維持事業	市民協働課	1,188	1,195	1,257	1,374	1,193	6,207	<ul style="list-style-type: none"> ・館山駅周辺の駐輪場の整理を行うとともに、自転車利用マナーの啓発を行った。 ・駅周辺駐輪場(5か所)の放置自転車の撤去を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・駐輪場の良好な利用環境の確保が図られた。 	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		134
219	防犯環境整備事業	市民協働課	2,767	2,679	3,870	5,543	5,061	19,920	<ul style="list-style-type: none"> ・市が防犯灯器具をリースとして各町内会に支給することにより、LED化を推進し、各町内会の負担軽減に繋がった。 ・館山市防犯協会を通じた防犯パトロールの実施、LED防犯灯設置の支援 ・館山駅周辺を中心とした防犯カメラの設置 ・市内で発生する行方不明者への対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・パトロールの実施、防犯灯、防犯カメラの設置により、犯罪抑止が図られた。 ・行政無線や安全安心メールによる情報発信によって、行方不明者の早期発見に繋がった。 	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		134
220	安全・安心な消費生活の確保	市民協働課	2,113	2,183	2,184	2,141	2,286	10,907	<ul style="list-style-type: none"> ・消費生活相談員の配置、消費者教育の実施 ・消費生活コミュニティリーダーによる「振込め詐欺」防止活動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・消費生活相談員を常駐させることにより、犯罪被害防止を図った。 	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		135
221	広聴体制の充実	企画課	5	0	0	0	0	5	<ul style="list-style-type: none"> ・「市長への手紙」への回答対応、関係各課への情報提供、ホームページでの公表 ・市政懇談会は、北条地区で毎年開催(R2はコロナ禍により書面開催)しており、これに加え、H29は、人口減少・少子高齢化社会における今後の持続可能なまちづくり施策の参考とするため、市内を4中学校区に分けて計4回開催した。また、H30は、九重地区でも開催した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「市長への手紙」では、意見を集約し、市政運営の施策に反映することができた。また、ホームページでの公表により、意見に対する回答、市政情報を周知した。 ・市政懇談会では、参加者から市政への提案・要望、地域が抱える課題等を聴くことができた。 ・参加者に偏りがあるため、世代や地域、組織・団体等にとらわれない、より効果的な広聴手法を検討したい。 	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		140

第4次館山市総合計画「前期基本計画」政策評価シート 総括

資料2-3

事業No.	計画事業名	担当課 (R3回答課)	【参考】前期基本計画の事業費 決算(見込み)額(千円)						H28～R2の事業実施状況	事業の効果及び課題(総括)	達成度	方向性	統合先の 計画事業	計画書 ページ No.
			H28	H29	H30	R1	R2	計						
			222	まちづくりモニター制度	企画課	0	0	0						
223	市民と行政による協働事業の充実	市民協働課	41	128	26	589	559	1,343	・NPO等の自主的な活動に対し、ホームページを活用した情報提供を行った。 ・市民協働条例の制定に向けた検討組織を設置し、検討委員会を1回行った。 ・令和元年度に市民協働事業補助制度を施行し、市内で活動するボランティアやNPO、町内会等団体へ市民協働事業補助金(市民協働まちづくり支援事業)を交付し、活動を支援した。	・NPO等の自主的な活動への側面的な支援が図れた。 ・市民協働条例を制定した。 ・市民協働事業補助金交付要綱、市民協働事業選定実施要領、市民協働事業選定委員会設置要綱を策定し、施行した。	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		140
224	市民と議会との情報交流の強化	議会事務局	3,108	3,898	3,963	3,903	4,169	19,041	・老朽化して不具合も生じていた、議場マイクシステムを新規に借上げた。 ・年間定期的に4回の市議会だよりを発行した。 ・随時、市議会ホームページの更新を行った。 ・議会報告会を開催した。(令和元年度は、台風15号等の影響により中止) ・付帯設備(マイク録音システム)を市の行事に貸し出した。	・市民への情報発信機能の向上が図られた。 ・市議会だより、市議会ホームページの充実が図られた。 ・議会及び市民の双方向の情報交流が図られた。 ・附帯設備の活用が図られた。	2 おおむね目標どおり	4 完了		140
225	コミュニティ事業の推進	市民協働課	18,948	15,582	3,038	5,261	19,339	62,168	・市内10地区のコミュニティ委員会への活動補助金の交付を行った。 ・要望のあったコミュニティ組織(各町内会含む)へ集会施設等の改修についての一部補助を行った。 ・宝くじ助成制度を活用した備品等への整備補助を行った。	・各地区コミュニティの運営を支援し、市民の自主的な活動促進が図れた。	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		142
226	町内会活動の促進	市民協働課	5,445	5,445	5,445	5,445	5,445	27,225	・館山市町内会連合協議会への補助金の交付を行った。	・館山市町内会連合協議会へ補助金を交付し、町内会の円滑な自治活動を促進するとともに、町内会相互の連絡調整を図った。	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		142
227	地域やNPO等による地域活性化活動への支援	企画課	129	129	129	129	129	645	・資生堂創業者の福原有信氏と「椿」による活性化を目指す地元(松岡区、NPO法人)の取組に参加した。 ・YOSHIKI氏(X JAPAN)作曲の「Forever Love」を、防災行政無線及び館山駅自由通路において継続放送するとともに、令和元年に館山駅が開業100周年を迎えたことを契機に、同年11月9日から館山駅の発車メロディーが「Forever Love」に変更となった。 ・「里見氏大河ドラマ実行委員会」が行うNHKへの大河ドラマ化要望活動に同行するなど、側面支援した。	・福原有信氏と「椿」による活性化を目指す地元区等の活動内容について認識を深めた。 ・当該楽曲の放送がメディアに取り上げられたり、楽曲を聴きに遠方から来訪者があるなど、市の知名度の向上や地域の活性化につながっている。また、館山駅発車メロディーの変更は、YOSHIKI氏所属事務所及びJR東日本千葉支社の理解・協力が得られて実現に至った。 ・支援の輪が近隣自治体にも広がり、連携して要望活動を実施することができた。	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		142

第4次館山市総合計画「前期基本計画」政策評価シート 総括

資料2-3

事業No.	計画事業名	担当課 (R3回答課)	【参考】前期基本計画の事業費 決算(見込み)額(千円)						H28~R2の事業実施状況	事業の効果及び課題(総括)	達成度	方向性	統合先の 計画事業	計画書 ページ No.
			H28	H29	H30	R1	R2	計						
			228	多様な主体との連携によるコミュニティの活性化	企画課	0	0	0						
雇用商工課	0	0	0	0	0	0	・館山商店会連合会による商店街スタンプラリーや、館山駅周辺地域等の空き店舗や未利用地の有効活用を図るリノベーションまちづくり事業など、官民連携の取組を実施した。	・リノベーションまちづくり事業については、官民連携の取組が浸透しつつあるが十分とは言えず、地域の方々の理解も得ながら更なる充実を図っていく必要がある。	(No.142) 商工関係団体支援事業 ほか					
観光みなと課	0	0	0	0	0	0	・館山市観光協会や館山商工会議所をはじめ、さまざまな団体と連携し、館山湾花火大会や南総里見まつりなどの観光イベントを実施	・観光イベント実施により、観光客誘致による観光関連産業の活性化のみならず市民の郷土愛の醸成を図ることができた。	(No.108) 観光産業活性化支援事業 ほか					
市民協働課	0	0	0	0	0	0	・NPO等の自主的な活動に対し、ホームページを活用した情報提供を行った。 ・市民協働条例の制定に向けた検討組織を設置し、検討委員会を1回行った。 ・令和元年度に市民協働事業補助制度を施行し、市内で活動するボランティアやNPO、町内会等団体へ市民協働事業補助金(市民協働まちづくり支援事業)を交付し、活動を支援した。	・NPO等の自主的な活動への側面的な支援が図れた。 ・市民協働条例を制定した。 ・市民協働事業補助金交付要綱、市民協働事業選定実施要領、市民協働事業選定委員会設置要綱を策定し、施行した。	(No.223) 市民と行政による協働事業の充実					
229	ふるさと納税(ふるさと寄附金)制度の推進	企画課	26,438	56,827	108,159	138,462	114,167	444,053	・地域おこし協力隊と協力し、新規事業者の開拓と返礼品の充実を図った。 ・外部講師を招いた事業者向け説明会を開催し、新規返礼品提供事業者を募るとともに、既存の事業者の意識向上・返礼品のブラッシュアップに努めた。 ・ふるさと納税のポータルサイト(2社)を活用し、返礼品の掲載やPRの強化を図った。 ・災害支援フォームを立ち上げ、台風被害に対する支援を呼び掛けた。 ・寄附金管理システムの導入により、寄附者データ・返礼品受発注データの適切な管理と事務の効率化を図った。 ・寄附金受領証明書・ワンストップ申請処理について民間委託することにより、寄附者へのサービスの向上と事務の効率化を図った。	・ふるさと納税の実績 (H28) 寄附件数：2,432件 *前年度比約2.8倍 寄附金額：70,212,773円 *前年度比約1.6倍 (H29) 寄附件数：3,342件 *前年度比約1.37倍 寄附金額：138,726,842円 *前年度比約1.97倍 (H30) 寄附件数：8,559件 *前年度比約2.6倍 寄附金額：241,351,425円 *前年度比約1.7倍 (R元) 寄附件数：19,900件 *前年度比約2.3倍 寄附金額：2,499,089,153円 *前澤氏20億円と台風災害分含む (R2) 寄附件数：9,862件 *前年度比約0.49倍 寄附金額：309,129,408円 *前年度0.62倍(20億円除く) ・企業版ふるさと納税 寄附件数：3件 寄附金額：22,000,000円 令和2年度の高額20寄附、台風災害支援の寄附を除けば5年間で順調に歳入・歳出が増加し、事業規模が増加している。	1 目標を上回る	1 継続(拡充)		142

第4次館山市総合計画「前期基本計画」政策評価シート 総括

資料2-3

事業No.	計画事業名	担当課 (R3回答課)	【参考】前期基本計画の事業費 決算(見込み)額(千円)						H28~R2の事業実施状況	事業の効果及び課題(総括)	達成度	方向性	統合先の 計画事業	計画書 ページ No.
			H28	H29	H30	R1	R2	計						
230	男女共同参画社会の実現に向けた取組	市民協働課	60	374	62	79	0	575	<ul style="list-style-type: none"> ・館山市コーラル会議において、千葉県男女共同参画課職員を講師に招き、男女共同参画に対する知識を学んだ。 ・千葉県男女共同参画推進会議については、フェスティバルや寸劇セミナー開催支援を行った。 ・第4期男女共同参画推進プラン策定のための市民意識調査を実施した。 ・第4期男女共同参画推進プランを策定した。 ・LGBTの勉強会を開催した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県のアドバイザー派遣を受け、コーラル会議での意見出しや計画策定段階でのアドバイスなど、適切な支援を受け、第4期男女共同参画推進プランを策定することができた。 ・イベント協力により、男女共同参画の意識啓発を行うことができた。 ・LGBTの勉強会により、市職員や市議会議員等の中でダイバーシティの推進やLGBT支援の制度化について、課題やその重要性について共通認識を持つことができた。 	2 おおむね目標どおり	1 継続(拡充)		
		総務課	0	0	0	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年3月に策定した『働きやすい職場づくりのための行動計画』に基づき、女性職員の活躍推進に係る取組を実施した。 ・女性職員懇談会の開催(H28) ・女性活躍推進講演会の開催(H28) ・女性活躍推進学習会(ヘルサ7編)の開催(H29) ・女性活躍推進セミナーの開催(H29) ※あいおいニッセイ同和損保(株)協力 ・「人的資源活用調査」の実施(H30) ・『館山市職員のハラスメントの防止等に関する要綱』を策定し、ハラスメント(パワハラ・セクハラ・マタハラ等)対策を強化した。(R02) 	<ul style="list-style-type: none"> ・女性職員が自らの「ライフプラン」、「キャリアプラン」を考えるきっかけづくりができた。 ・講演会には男性職員の参加もあり、職場全体として、男女共同参画の気運が高まった。 ・「人的資源活用調査」におけるアンケート、ヒアリングにより、問題点及び課題の把握ができた。 ・市役所本館女子厚生室の改修など、全庁的に女性職員の視点からの職場環境の改善が進んだ。 	3 目標をやや下回る	8 他事業に統合	(No.231) 女性活躍支援事業	144
231	女性活躍支援事業	市民協働課	0	0	0	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者向けに女性活躍推進セミナーを計画したが、台風接近に伴い中止された。 ・各課及び館山商工会議所を通じ、国・県・民間団体の各種制度の周知を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・女性活躍の支援は、企業における優秀な人材の登用や働き方改革に繋がる事業である。 ・女性活躍推進セミナーを実施することができなかったため、市から直接的に市内事業者へ支援を行うことはできなかった。 	3 目標をやや下回る	1 継続(拡充)		144
232	情報発信の強化・充実	秘書広報課	10,407	8,616	9,094	9,116	7,494	44,727	<ul style="list-style-type: none"> ・広報紙の定期発行(年23回) ・インターネット媒体(HP/SNS)による情報発信 ・いつでも、どこでも手軽に広報紙を読めるように、民間の広報紙提供スマホアプリ「マチイロ」を導入した。 ・「声の広報」をHPに掲載し、視覚障害の有無に関わらず、音声広報を利用可能とした。 ・HPに音声読み上げ機能を追加し、視覚障害への対応を行った。 ・HP・SNSは、積極的・適時性を伴った記事の更新・投稿に努めた。 ・定例記者会見・プレスリリースは、報道機関への積極的な情報提供により市内外へ市の取組・魅力等をPRした。 ・国内外へ広く館山市の魅力を発信するため、見て分かるPR冊子(写真集)を配布した。 ・暮らしに役立つ行政・観光等の情報ガイド「暮らしの便利帳」を全世帯へ及び転入者へ配布した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「広報紙、インターネット媒体(HP/SNS)、報道機関」による情報発信を活用し、相互に連携・補完して新鮮で生きた情報を市内外に積極的に発信することで、「市民協働によるまちづくりの推進」「市の魅力PRによる各分野の振興・活性化」を図った。 	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		146
		情報課	2,244	2,061	2,387	2,203	9,098	17,993						

第4次館山市総合計画「前期基本計画」政策評価シート 総括

資料2-3

事業No.	計画事業名	担当課 (R3回答課)	【参考】前期基本計画の事業費 決算(見込み)額(千円)						H28～R2の事業実施状況	事業の効果及び課題(総括)	達成度	方向性	統合先の 計画事業	計画書 ページ No.
			H28	H29	H30	R1	R2	計						
			233	電子自治体推進事業	情報課	4,178	1,425	5,130						
234	地域情報化推進事業	情報課	552	1,587	934	908	8,550	12,531	<ul style="list-style-type: none"> ・ITヘルプデスクの利用者4,000人突破 ・ITヘルプデスクへパソコン2台の設置や施設利用料減免 ・市施設のWi-Fi整備14箇所 12,531千円 ・スマホ、タブレット講座実施(災害対応により実施見合わせ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民のICTリテラシーが向上した。 ・Wi-Fiの整備により、市民や来訪者の利便性が向上したほか、情報発信力が向上した。 	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		146
235	情報セキュリティの強化	情報課	42,980	2,793	5,672	2,516	2,539	56,500	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク強靱化 39,960千円 ・セキュリティクラウド運用保守委託等 5,691千円 ・ファイル無害化システム運用 4,650千円 ・メール無害化システム運用 3,179千円 ・学校用CAL(サーバへの接続権利) 2,864千円 ・電子計算機室警備 156千円 	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットと市内ネットワークの分離により、情報漏えい等に対するセキュリティ強化が図られた。 ・メール無害化システムの導入により、メール処理の効率化が図られた。 	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		146
236	データ利活用の推進	企画課	0	0	0	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・RESAS(地域経済分析システム:リーサス)の活用を全庁的に推進した。 ・市が保有するデータのオープンデータ化の検討を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・RESASデータに基づく、施策の検討等が進められた。 	4 目標をかなり下回る	2 継続(現状維持)		146
		情報課	0	0	0	0	0	0			2 おおむね目標どおり			
237	行財政改革の推進	行革財政課	0	199	0	1,459	0	1,658	<p>第2次行財政改革方針(H25～29)に基づく取組み実行(主なもの)【H28～29】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市税徴収率向上 ・使用料・手数料改定 ・人件費の抑制(給与削減) ・繰出金の見直し(市独自繰出分) <p>第3次行財政改革方針(H30～R4)策定【H29】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財政効果目標 4億円/単年 ・歳入確保、歳出削減、公共施設見直し、民間委託の推進 <p>第3次行財政改革方針の実行【H30～】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間委託の推進(指定管理者制度導入) <ul style="list-style-type: none"> ○プール施設・老人福祉センター(H31.4～) ○都市公園・博物館(R元.12～) ・民間委託の推進(包括的民間委託導入) <ul style="list-style-type: none"> ○総務事務センター運営委託(H31.4～) ・事務事業の見直し <ul style="list-style-type: none"> ○事業仕分け(R元9月)⇒台風災害にて中止 	<p>第2次行財政改革方針(H25～29)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5カ年の財政効果額:25.5億円 <p>第3次行財政改革方針(H30～R4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H30年度 効果額:2.2億円 ・R元年度 効果額:0.7億円 <p>3.0億円 ※R2年度効果額はR3年夏に算定</p> <p>目標値⇒財政調整基金額20.4億円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H28決算 13.7億円 ・H29決算 14.0億円 ・H30決算 19.8億円 ・R元決算 11.0億円 ・R02決算 16.7億円 	4 目標をかなり下回る	2 継続(現状維持)		148

第4次館山市総合計画「前期基本計画」政策評価シート 総括

事業No.	計画事業名	担当課 (R3回答課)	【参考】前期基本計画の事業費 決算(見込み)額(千円)						H28～R2の事業実施状況	事業の効果及び課題(総括)	達成度	方向性	統合先の 計画事業	計画書 ページ No.
			H28	H29	H30	R1	R2	計						
			238	公共施設等総合管理計画の策定及び実施	行革財政課	591	0	0						
239	地方公会計の整備及び活用	行革財政課	2,754	432	432	436	440	4,494	(国) 統一の基準に基づく財務書類整備 ・H27: 固定資産台帳整備 ・H28: 財務書類整備(市会計分) ・H29: 財務書類整備(関連団体との連結整備 → 公表) ・H30: 前年度との比較実施	・財務書類の整備による当市の財政分析 ・他団体比較による当市の財政分析	2おおむね目標どおり	8他事業に統合	(No.237) 行財政改革の推進	148
240	市税等の徴収率向上による自主財源の安定確保	税務課(納税推進室)	0	0	0	0	0	0	・現年度課税分の徴収強化 ・新規、少額滞納案件に対する「早期着手・早期接触・早期整理」の実施 ・差押を前提とした滞納整理 ・滞納者の実情に応じた滞納整理	・安定した徴収率の確保 ・滞納繰越額の縮減 ・新型コロナウイルスの影響により、一時に納付が困難な納税者に対し、徴収猶予(特例)を適用したことにより、現年度課税分市民税(個人・法人)徴収率が低下	3目標をやや下回る	2継続(現状維持)		148
241	職員の適正配置による市民サービスの向上	総務課	0	0	2,808	0	0	2,808	時代や社会のニーズに弾力的に対応し、よりの確なサービスを提供するため以下の取組を実施した。 ・職員増減員要望調査の実施 ・人事異動等に対する自己申告の実施 ・再任用職員の採用 ・組織改編(H29→H30)(商工観光課、みなど課廃止→雇用商工課、観光みなど課の新設 公共交通係、債権管理係の新設) ・「人的資源活用調査」の実施(H30) ・「第6期館山市定員適正化計画」に基づき職員数を一定水準まで増員した(R元)	・職員増減員要望調査や人事異動等に対する自己申告を実施することにより、現場や個人からの意見を吸い上げることができ、職員配置の参考とすることができた。 ・また、再任用職員を採用することにより、その職員がこれまで培ってきた知識や経験を活かし、効率的かつ効果的に業務を遂行することができた。 ・組織としての生産性を向上するため、「人的資源活用調査」(H30)を実施し、組織、人員体制等の分析を行い、組織としての問題点や改善点について提案を受けた。今後、本調査結果を参考として職員の適正配置に活かしていく。	2おおむね目標どおり	8他事業に統合	※新規事業に統合	148
242	時代のニーズに対応できる職員の確保・育成	総務課	1,388	1,450	1,524	1,342	715	6,419	時代のニーズに対応するできる、視野の広い職員を確保・育成するため以下の取組を実施した。 ・職員採用試験の積極的なPR(パンフレット・facebook) ・職員採用試験の見直し 第三次試験まで実施 (H27 第二次試験まで) 二次募集の実施 ・人事評価の給与反映(管理職のみ) ・職員研修の実施 派遣研修 市独自研修の実施 安房広域による集合研修の実施 ・千葉県への職員派遣 ・『館山市職員人材育成基本方針』の見直し(R03)	・積極的なPRや採用試験の見直しにより、多数の受験者を集めることができ、多様な人物の中から求める人材(材)を確保することができた。 ・様々な研修を通じ、職員の基礎能力や実務能力の向上が図られ、円滑な業務遂行に寄与したと史料する。 ・千葉県への職員派遣により、市役所内とは異なる新たな視点で業務にあたることができ、より幅広い視野や新たな知識、県や他市町村職員との人的ネットワークを得て、市の業務へ活かすことができている。 ・専門性の高い社会福祉士職を採用し、福祉部門の人員体制を強化することができた。 ※R02年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、各種派遣研修の中止が多かった。 今後は、オンライン研修など、「新しい生活様式」に即した形態の研修への対応が必要となる。	3目標をやや下回る	8他事業に統合	※新規事業に統合	148

第4次館山市総合計画「前期基本計画」政策評価シート 総括

資料2-3

事業No.	計画事業名	担当課 (R3回答課)	【参考】前期基本計画の事業費 決算(見込み)額(千円)						H28~R2の事業実施状況	事業の効果及び課題(総括)	達成度	方向性	統合先の 計画事業	計画書 ページ No.
			H28	H29	H30	R1	R2	計						
			243	窓口サービスの充実	市民課	26,719	24,424	24,270						
244	市民相談事業	市民課	675	712	720	690	608	3,405	・市民からの相談に対し、必要に応じ関係機関と連携し、相談業務の充実を図った。 ・相談室の開設日について、広報やホームページに掲載し周知に努めた。	・相談室対応実績は、相談件数が38件、関係機関等への紹介・案内が130件となり、市民の不安解消等に努めた。 (R元年度：相談49件、紹介等106件)	2 おおむね目標どおり	2 継続(現状維持)		148
245	納付者ニーズに応じた納付環境の整備	税務課(納税推進室)	14,042	13,354	14,661	10,641	12,508	65,206	・銀行、市窓口以外での市税納付場所の充実を図った。 (コンビニ、キャッシュレス決済等での対応)	・24時間、いかなる場所に関係なく、納付することが可能となった。	2 おおむね目標どおり	1 継続(拡充)		148
246	保健・医療・福祉に関する総合相談体制の整備	健康課(健康福祉部)	0	0	0	0	0	0	・体制づくりの端緒として、関係部課との情報共有・連携強化に向けた試験的な取組としてチャットシステムの運用を行った。 ・令和元年度は、地域包括ケアシステムの枠組みの中で、多様な市民を“まるごと支援”するための専門機関や庁内関係課で構成する連絡会を立ち上げ、情報共有を図るとともに、個々の課題の解決に向けた取組を進めている。	・高齢者福祉課と社会福祉協議会が窓口となり、庁内関係課や地域包括支援センターを含む福祉関係事業との連携により、困りごとを抱える市民のニーズを吸い上げ、情報共有と支援策の検討や積極的な訪問などを通じ、解決に向けた取組を進めることができた。	2 おおむね目標どおり	1 継続(拡充)		148
247	シビックコアの検討	企画課	0	0	0	0	0	0	・国公有財産の最適利用(旧県立安房南高等学校跡地の利活用)について、千葉財務事務所・千葉県(県警本部を含む)・館山市の合同による意見交換を行った。 ・財政状況を勘案しながら庁舎整備基本方針の目標額に向け、庁舎建設基金の任意の積み立てを行った。	・厳しい財政状況のなか、庁舎建設基金に、毎年一般会計から定額を積み立てることは難しい。 ・新市庁舎の建設は15年~20年後を予定しており、近い将来、旧県立安房南高等学校跡地への移転が見込まれる新しい安房合同庁舎に、館山市の施設を合わせて建設(合築)する考えは現段階ではない。 ・旧県立安房南高等学校跡地の利活用について、引き続き、国・県・市の合同による意見交換等の機会を捉え、将来のまちづくりや市民の利便性向上に繋げられるように努めていきたい。	1 目標を上回る	1 継続(拡充)		151
248	広域連携の充実	企画課	0	0	0	0	0	0	・近隣市町等で構成する各種協議会等を通じ、観光振興等の取組を行った。 ・地方創生の取組等に関する近隣市町等との意見交換を行った。 ・新たな広域連携のあり方等、国の制度把握、他市町村の取組事例に関する情報収集に努めた。 ・平成30年12月21日に南房総市に対して定住自立圏形成に向けた協議再開の申入れを行ったところ、平成31年2月7日にその同意を得ることができた。 ・「館山市・南房総市定住自立圏構想」の推進にあたり、令和元年9月27日に館山市が「中心市宣言」を行い、令和2年7月3日に「定住自立圏形成協定」を締結した。	・「南房総観光連盟」など観光分野(サイクルツーリズム等)においては、安房地域で連携し、継続的に取り組んでいる。 ・地方創生、人口減少対策に関する取組について、近隣市町等と意見交換し、実施内容や課題について情報共有できた。 ・定住自立圏構想の次のステップである「共生ビジョン」の事業選定について協議を開始したが、現時点でビジョン策定には至っていない。	2 おおむね目標どおり	1 継続(拡充)		151